

# 中国語入門期の Q & A について： 新型コロナ禍における教学報告として載録

武信 彰

## Q & A Modes in the Online Mandarin Chinese Education during the COVID-19 Pandemic: Flood of Unexpected Questions

TAKENOBU Akira

本文通过在疫情下的网路课程的答卷中添补写上来的困惑或问题来分析这些内容重新验证汉语教学里面所采用的 FAQ 或 Q & A 方式，并且收录介绍问答实例。

### 0. はじめに

中国語Ⅰ（総合Ⅰ）・中国語Ⅱ（総合Ⅰ）の履修生からの生質問をほぼすべて拾い上げ、質問文を整え全員で共有してもらう形で回答したものをまとめて載録し、Q & A という形式について若干の考察を試みたい。

教科書等に記載されるおそらく編著者側が用意した形式的な「質問と回答」という意味でのいわゆる Q & A ではなく、実際に履修者側から出される質問に、それを厭うことなくできる範囲で回答してみるという、当然あるべきかもしれないけれども実は徹底して行うに至っていなかったことにチャレンジした記録でもある。

対面授業のように進行に気を配る中では、望まれる質問であれば流れに乗せるし、そうでないものならば進行を妨げられないようにいなして流し、結果、紛れて忘れられてしまう。

レポートに添えられる質問だから答えたいけれども、要領を得ずすぐには理解できないものも多い。どうしたものか逡巡するも、学習者の置かれた状況を思えばどうにかしなければなるまい。“一不做二不休”，不自由かつ必死の教学状況のお陰でこの記録を残すことができたと言えるかもしれない。

## 1. 2020年度の授業形態

2020年春学期はパンデミックの拡がりを受けて、週8コマをすべて課題配信・レポート提出形式の遠隔授業で行い、さらに卒論を春学期に提出する1名ともメールの添付でやり取りをしていたので、送り・受け取る文字情報量はかつて経験したことのないほどに増した。その中で、寄せられる質問は全体から見ればほんのわずかではあるものの、不意に出現するうえに、意外外と言ってよいほどのものが多く、まずは質問者の立場に沿う姿勢でその問わんとするところを押し量り了解することから始めなければならなかった。

### 1.1 実際の状況

IT弱者として、Zoom等の利用に堪えられそうにないくらいにくたびれたパソコンでもって提案される中のもっともブレンなシステムの課題配信・レポート提出形式を採るしかなかったがゆえにかえって、さもなければ拾われることもなく流されるままにされただろう質問もしくはつぶやきに向き合い、回答する機会を与えられた。

一年生の週4コマのうちの1コマ〔春学期：中国語Ⅰ（総合Ⅰ）／秋学期：中国語Ⅱ（総合Ⅰ）〕を2クラス担当しているので、40数名からのレポートが返ってくる。課題は教科書の各課を教科書執筆時の最終稿ではないけれどもファイルとして残っているものを合わせ、これに自習用に必要な記述を足し、その中の練習問題から指定したものを課題とし、前回の課題の解答に講評と解説を加え、そこに、あったならば、質問とその解答を添える形式になる。

## 2. FAQ・Q&Aとは異なるその実相

前述の如くパンデミックに見舞われ通常の教程を遠隔という変則的な授業形態で行わざるを得ない状況に追い込まれるや、遠隔授業で、とりわけ課題配信・レポート提出形式に通常授業の教室では場の力によって抑制されていたとも言える戸惑いからか、独言であるかのようでもあるけれども質問だろうと判断することのできる書き込みがレポートに添えられることもままあり、そのやや整理されていない書き込みを読み込んで教学面からの回答に落とし込む（ケアを心掛けつつの）作業に追われる中で、従来のFAQやQ&Aとはまったく逆方向の意味づけを実感するようになっていった。

すなわち、この作業はあたかもワクチンの治験のように、従来の教学方法への臨床試験ではあるまいかという捉えなおしである。

## 2.1 「分からなさ」

コロナ禍以前の対面授業において受けることがなかった、少なくともそういう気づきがなかった彼らの「分からなさ」の訴えに接し、課題配信・レポート提出だからこそこの経験に恵まれたのだろう。例えば、対面授業ならばクラス全体の流れがある中で質問も生まれにくいし、思いついても言い出しにくい。まして、よくまとまらないいわば不規則発言的な質問は「流され」てしまうだろうし、繰り返せば要注意の存在にされてしまいかねない。

Zoom ライブ授業ともなれば、さらにいっそう「拾われ」にくいだろう。なんとなれば、質問をするということは他の成員がミュートを強いられ教授者もクラスの進行を譲り、結果その場を一時的に独占することになるからである。いわゆる名物学生でもなければその役を担い難い。ましてや自らが何を問うているのかも自信が持てない、本当に「分からない」を伝えることには躊躇するのが自然であり、対面授業以上に敷居が高いと言えよう。

## 3. Q&A とは、FAQ とは

FAQ（エフ・エー・キュー／ファック）は Frequently Asked Question の略称であり「よく尋ねられる質問」すなわち「よくある質問」を意味し、実際に寄せられた質問に対して回答をまとめ、質問（Q）と回答（A）の形式に整えて顧客やユーザーを対象に用意するものである。

一方、Q&A は FAQ に似ているものの、質問されそうな内容をあらかじめ予想して質問と回答を作ることもあるという違いがあり、マニュアルに活用されることが多いし、情報量も多くなる。

通常の教程を一般的な教科書を用いて対面式で教授する中において、あまり意識はしないまでも、教科書等に Q&A の名をかぶせて FAQ 風のものが加わっていることは珍しくはない。自著<sup>1</sup>も例外ではない。つまり、その限りにおいては FAQ や Q&A は通常の教程の一要素である。

さらには Q&A だけで編まれる参考書さえ存在する。例えば、相原茂・木村英樹・杉村博文・中川正之（1987）は、教科書に Q&A として載る代表的なものに、いわば「脱線ネタ」として溜めていたものを付け足した作りのように見受けられる。前者はあるいは FAQ の性質を内包するととることができるかもしれないが、後者は書き手によって用意されたものであり、読み手の関心

---

1 武信彰・山田眞一（2006）は付加的・補足的事項を Q&A 型式で導入。

に沿うものというよりも、著者の教学における貴重な拾い物の披露であるかもしれない。前半は通常の解説の形式で間に合うであろうし、後半は「ネタ」で終わらすには惜しく物語として熟し発展した形式に仕上げたものに出逢いたい。Q&A形式を採るのは編集・出版上の要請であろうと窺える。

丁秀山(1985)・丁秀山(1988)のように問答形式ありきで編まれる参考書もある。「和臭」を「オーバーホールする」ためのQ&Aで構成されるが、やはり「よくある質問」ではなく恣意的な設定である。

このようにわれわれの教学においてQ&Aは思えば身近なものである。しかし、このQ&A形式の導入や使用について検討されることは稀である。

簡明直截に言うならば、学習者の「分からなさ」に一定の傾向を見て取ることができ、かつ同様の質問でそれが示されることが多く、また用意する回答によって理解に到る可能性が高いならば効率的な手法ではある。

#### 4. 「質問」追考

質問は必ずしも特定の履修者から寄せられるわけではなく、また毎回添えられるとも限らず、レポート通覧時にふいに目に留まる程度である。とはいえ、累計すれば、他の履修者と共有すべきものとして回答しQ&Aとし得たものは、コロナ初年の2020年度において100近くに上る。その中には、提出レポートの解答に添えてあるだけで質問の形式をそなえていないものの、何らかの回答を期待すると読めるものもいくらか含んでいる。

コロナ禍2年目2021年度は原則として対面授業への移行が図られたこともあり数量的には少し減り50余にとどまり、また前年度のQ&Aをそのまま生かし利用し得た場合もいくらかはあった<sup>2</sup>。

#### 5. 「質問」をQ&Aに整理

実際に得た質問をQ&Aとしてまとめたものをつなぎ合わせてFAQ然としたものに組み立てることはできないし、教科書の編集上の工夫としてあつらえる出来合いのQ&Aと似ていないことも一目瞭然である。

では、Q&Aのストックに次々と蓄積していきハイパーテキスト化すればよいのではないかといえ、そういう構想は楽観的にすぎる。質問と回答が

---

2 このようなQ&Aを蓄積すればあるいはFAQにつながる可能性もなくはないかもしれないが、各単元の文法解説にあらかじめ組み込んでおけばよいだけだとも言えよう。



類型化困難であり、なによりもパンデミックの災厄が去るのを待たず供給が途切れてしまう。ライブ配信や動画のオンデマンド等々の対応が整い課題配信型には補助的役割しか残らず、今後同様の状況は生まれそうにないからである。

質問を Q&A と蓄積するまでもなく随時質問ができて適宜回答が得られればよからうという考えもあろう。現にネット検索からさまざまに相談するものがいくつも存在する。けれども、管見の限り推奨されるものではない。質問は確かに質問者によって発信されるけれども、回答者は善意ではあろうけれども多く適切さを備えていないようであるし、質問者の能力養成に関心がない。

履修者の疑問・質問が教程の内容のみにあるのならば、これを思い込みによる見当違いであると言われても仕方ないけれども、この度の経験から意想外に学習上の混乱や思い込みの解けぬままに理解から遠ざかる症例が多く、これに学科内容面からの知識を伝え込むことの難しさは並ではない。文法項目の中に誘い込んで懇切丁寧に解説すればそれで済むという見込みは立たないし、母語の干渉や既習外国語の英語による言語転移の原理から推して修正を試みるという段階でもなさそうである。

## 6. 「分からなさ」の実相

Q&A の形式にまとめ整理してみたものの、従来の Q&A の形式に似合わない、履修者から得られそうな質問とその回答を代表させる、教材の Q&A に本来期待されるであろう役割からは遠いものに仕上がった。

分析を待つものではあるけれども、教学経験に基づく印象としては、その学習姿勢にある種の澱のように溜まった癖のようなものがあって、それによって理解が妨げられているのではないかという、漠然とした構図が浮かぶ。すなわち、中国語の発音なり文法なりの知識不足からくるものではなく、既習概念などに起因する思い込みから誤誘導され理解から遠のいている場合が多いのではないか。それも整理することを許さないほどに個々人のいわばクセが感じられる。言い換えれば、どのような回路でもって理解に達していないのかということにヒントを与えてくれるけいけんではあった。

いずれにせよ、このような学習者にとっての「分からなさ」は一般性をもつものではなく、FAQ に問うことは望めない。

## 7. おわりに

コロナ禍の中で図らずもレポートを通して個々の履修者との間にあたかも小さな相談室が設けられたかのように遠慮なく質問をしてもらえ、それが思いがけない発見をもたらしてくれた。履修者にとっての「分かりにくさ」が実際にはいかなるものであるのかを目の当たりにし、励ましつつ理解に導くにはどのような説き方がよいのか工夫し、それを「質問と回答」として捉え整理したものが従来、教科書等で目にしていた Q & A 形式の教材とは似て非なるものであることを認識するに至った。限られた学習者から寄せられたけっして多くはない症例ではあるけれども、状況的に貴重な資料足り得るものとして併せて載録することとした。

なお、使用したイラストはフリー素材から選び、また図表も教科書類等に共用される一般的なものを借りるにとどめた。

### 使用教科書・工具書および参考文献

相原茂・木村英樹・杉村博文・中川正之（1987）『中国語入門 Q & A101』大修館書店。

武信彰（2001）『60歳からの中国語入門』三修社。

武信彰・山田眞一（2006）『中国語一年目の教科書 ユニバーサル・ユース』好文出版。

武信彰・山田眞一（2013）『プログレッシブ中国語辞典 第2版』小学館。

丁秀山（1985）『中国語百問百答：あなたの疑問に答える』東方書店。

丁秀山（1988）『中国語百問百答Ⅱ』東方書店。

「中国語基本音節表」（「オンライン中国語学習 CH-TEXT'S」）

[http://www.ch-texts.org/contents\\_onsetsup.html](http://www.ch-texts.org/contents_onsetsup.html)

## 2020年度 Q&A

1 Q : ji と qi を聞き分けたり、発音し分けるのが難しいのですが、何かコツのようなものがあったら教えてください。

A : ji が難しいでしょ、なんかみんな qi になってしまう気がして。口が「j」の形になったら即座に「i」に移るように意識する。つまり、呼気が強く出るスキを与えないようにするのです。qi の方は難しいとは言えません。ほっとけば qi, すなわち呼気が強く出て有気音になります。聞き分けは耳が肥えるまでちょっと時間がかかります。

2 Q : ü (yu) の発音はドイツ語と同じような発音であると考えてよいでしょうか。

A : ドイツ語のウムラウトですね。同じように考えてよいでしょうが、中国語の場合は1種類だけです。

「i + u → ü」ですから、「i」を発音しながら「u」を参加させていく、もしくは「u」を発音しながら「i」を参加させていく、そんな感じで練習してみてください。

3 Q : CD を聞くと po や bo などの“o”の母音のある時は、発音しながらだんだん口が開いているように聞こえたのですが、実際にそういう風に発音するのですか。

A : 練習しているうちにいろいろな発見や疑問が浮かんでくることと思います。現実世界で発せられる言葉はちぎれちぎれではなくどんどん続いていくのですが、それを小さく区切って練習するので、よく言えば分析的に単純化して学んでいるわけです。ですから、お手本のネイティブの先生の発音も実は不自然にならざるを得ないのです。そういうことなので、あまり気にしないでよい面もあったりします。po や bo とゆっくり単独に話すことなどないから、自分なりのフィニッシュをされているのだと想像します。

e なんかもっと大変で、もともと単独では発音するのが少々苦しい音であって、また前後の環境（どんな音とつながるか）で音価がけっこう変わってくるので、あまり神経質にならないというのも一つの手だと思います。

というのも、e は「あいまい母音」と少々あいまいな呼び方をして指導されることもありますし、「非円唇－後舌－狭中母音 /ɤ/」と学問的に指導されることもあります。早い話 a でも i でも u でもない、o とは近いながらも唇をすぼめることもないので違う、すなわちそれらのどれとも聞こえない音なのです。逆を言えば、例えば u を発音したつもりでも唇のすぼめがゆるければ中国語耳

には e と聞こえてしまうのです。しかも、中国語でこのような「あいまいな」母音は1つだけですから、放っておいても「だらしなく」発音すればみなこの e になってしまいます。ですから、本当に神経質になる必要はないのです。

ただ、前後に何も伴わず単母音として発音する場合、いきなり「だらしない」音を出すのはかえって大変で「日本語にないうめき声のような音」を出せという指導も目にすることがあります。確かに、「餓」è を、力を入れて発音すれば、お腹が空いてうめいているように聞こえなくもありませんね。

声調付きでない発音練習はかえって難しいという鋭いご意見もいただきましたが、それはある意味正しいとしても、声調に気がとられないように単純化して練習しているのだと理解してもらえれば幸いです。

いずれにせよ、発音練習は単純化してそれぞれポイントを習得しようという構えでできています。例えば bo と po ならば「無気音／有気音」の区別を練習するためです。優れた耳や鋭い感性は将来の楽しみに大事にとっておいてください。(´・`)

#### 4 Q : n と ng を完全に聞き分けることは可能なのでしょうか。

A : このような質問がありました。まず困難でしょう。言い分けることができるようになって、聞き分けられるようになるのは容易ではありません。

「新年」「新学期」「新聞」の各「新 しん」はそれぞれ [n] [ŋ] [m] であって、音声学的には別の音です。でも、わたしたち（日本語母語話者）は同じだと感じませんか。どれも同じく /ん/ と処理しているはずです。日本語母語話者は日本語に最適化しているので、それぞれ別の音に感じるようならば、日本語の世界でうまく生きていけなくなります。

ですから、日本語と異なる n と ng による意味の仕分けを持ち込もうとすれば、当然「免疫」の駆動が起こり阻止しようとします。「言い分け」ができるのだから「聞き分け」もできるはずだという考えは容れられません。なぜなら、器官で言えば、口や耳ではなくて脳の問題だからです。

「日本語のシステムへの挑戦ではございません。外国語を学びちょっと使うだけなんです。ですから、そこをなんとか……」というリハビリのような練習をするわけなのです。

ちょっと視点を変えてみましょう。中国語母語話者は n と ng とを区別する習わしなのに、日本語の世界に弟子入りするや、「そんなのヤメとき！『新聞』は し n ぶ n じゃないぞお、し m ぶ ng だぞ」って理不尽な指導を受けなければなりません。

さて、では『完全』から遠い出来具合で大丈夫なのかと思われるかもしれませんが、心配する必要はありません。わたしたちは聴覚機械ではなく、人間ですから、例えば語彙力を養えば聞き分けるまでもなく最初から区別してかかすることができますし、言語習慣に慣れて文脈を捉えることができるようになればコミュニケーション能力にそんな大きな差し障りとはならないでしょう。

5 Q：接尾辞 r って何？

A：指小辞（ししょうじ）という接語の一種です。「小ささ」「愛らしさ」「親密さ」「つまらなさ」などの意を加える働きをするものです。日本語の「ちびっこ」「小役人」「アメちゃん」などもそうです。

ただ、この r (er) を始めとして zhi, chi, shi, ri 等のそり舌音はもともと北京などほんの狭い地域のクセとも言える発音です。共通語の中に取り入れられたものであるのも、もちろんしっかり学ぶべきですけれども、多くの地域では苦手で不得手な人も少なくありません。例えば、“一点儿” yìdiǎnr も台湾などではふつう yìdiǎndiǎn などと発音されます。

6 Q：どうしてもローマ字読みになってしまうんです。

A：一口にローマ字と言っても、実は訓令式とヘボン式がありますし、最近ではローマ字入力で生まれたいわゆるワープロ式も生まれ加わってきています。

訓令式 ta ti tu te to / ヘボン式 ta chi tsu te to  
ワープロ式 nn → ん juuyou → 重要

ですから、わたし（わたしたち）のローマ字読みなんですね。すなわち、自分がなじんでいる、自分が自動的に処理しているローマ字規則です。しっかり身につけているから、お相撲ではないけれども、そのクセがとれるまでの稽古が必要となります。

7 Q：iong の発音は、CD を聞いても「イオン」と聞こえるのですが、違うのですか。

A：実は、ピンインはすごく残念な出来なんです。中国語の音韻規則を基本にしたかと思えば、微細な聞こえ方を根拠にしたり、よく言ってダブルスタンダードで作られています。

ong は、本来は üng, 悪くても iung にして欲しかった。でも、理論上  
「i + u → ü」

なんだけど i がちょっと早く聞こえるということで、iung にした方がよい、

さらに（当時のことですから）筆記体にしたときに u は n や m などと連なると見分けがつきにくくなる等々という横やりが入ったらしいのです。

-uei, -iou などと同じです。教科書の解説を参照してください。

お手本を録音するネイティブ・スピーカーも iong になんらかの誘導が働いているのかもしれませんが、あなたもそうかもしれません。

前掲の「中国語の音節」を見てください。介音 ü の発音がたとえ自分風にならずでも大丈夫なんです。i でも u でもなければ基本的には支障がありません。

幼児の時期を過ぎてから学ぶ言葉は母語ではなくて外国語です！「xin と xing の違いがまったく分からず難しかったです」という感想も届いています。確かに難しいですよ。母語の音の種類・数と処理の仕方がしっかり身につけていますから、他の人たちの言葉のルールに慣れるのはけっこうしんどいのです。その人たちにとってはまったく異なる音であっても、わたしたちは同じに聞こえてしまう、いや、どうしても同じに聞いてしまうと言った方がよいでしょうか。そういった回路ができていますのですから、根気強く稽古に励んでその回路に融通性を開かせるように働きかけないといけません。

外国語学習における「目指す発音」は基本的には次の通りです。

目指す発音 ≠ ネイティブ話者とまったく同じ発音

≡ 他の音との仕分けができていて聞き手に理解してもらえる発音

理屈を理解することで気持ちが軽くなり、着実な練習が可能となります。

\*\*\*\*\*

（この時期に言いづらいのですが）飛沫が飛び散るほどの呼気の量が発音習得のカギになります。日本語は世界的にも飛沫が飛びにくい発音の、ほそぼそ話すタイプの言語です。呼気の量が多いということは、口腔内に呼気のもととなる空気が常に充填されるということです。

8 Q：漢字の練習をしたいなと思ったのですが、先に漢字だけ覚えてもいいのでしょうか。それとも単語は発音と一緒に覚えるほうがいいのでしょうか。

A：日本語も漢字を使っていますが、いま学習目標とする「漢字」は中国語の世界の「漢字」です。ですから、（確かに漢字はすでに見知っているものに違いありませんが）中国語の学習をする中で学んでいくのが原則です。とは言え、日本語母語話者の中国語学習では、昔から「貸し借り」が常でどうしても混濁してしまいます。有利でもありますし、うっかりを生む元にもなってしまいます。

9 Q：“二”èr の発音を英語の r を丁寧に発音するようなイメージで発音しているのですが、これは間違っていないでしょうか。

A：IPA（国際音声記号）で表わすと、英語の r は [ɑr]、中国語の er は [ə] ですから、遠からずではありますが、同じと言うほどでもないですね。英語の r を発音するときの最初の「ア」を捨ていきなり口の中ほどから行く感じでしょうか。英語の応用でいくならば、「稼ぐ」意の earn [əˈrɪn] の先頭の発音に換えればいいのかなあ。

10 Q：中国語の歌は中国語の発音練習には不向きでしょうか？

A：曲の音程と歌詞の声調の間にちょっとした“小競り合い”が起きますので、その点から言えば、ちょっと戸惑うこともあるかと思います。でも、そのデメリットよりも楽しく学習する面のメリットの方が大きいかもしれません。

11 Q：第2声が重なっているときの発音がすごく苦手です。

A：正しい足踏みです。苦手というより、だれにとっても最初は困難が伴うでしょう。テニスや卓球で腕を伸ばしてスウィングして元に戻ったと思ったらまたそっちに打たれてすぐに同じスウィングを強いられる、そんな練習になりますから。口の中で空気切れが起きないようにすることが肝要です。パワー不足ではコントロールできなくなってしまうのです。常に口の中に呼気の元になる空気を溜められるようになれば、困難は解消するはずです。

12 Q：(a) en はエンというように発音しても、eng になるとオンというように発音しなければならないなど、変化する音を確実に覚える必要があると感じた。(b) eng の発音が「オン」となるのが難しいです。どうしても「エン」と言ってしまうようになります。

A：どちらも≠「エ」≠「オ」なのですが、≡「エ」≡「オ」ではあるので教室では en はとりあえず「エン」でまっいいかという指導、eng はさすがに「エン」ではまずいかなあ、じゃあ「オン」でやってもらおうかという指導が多くなされます。とりあえずそれでやってもらって、学習が進むにつれて微調整してもらえるといいかなと。

(c) n と ng の発音に対しては、厳密に聞き分けられなくてもいいんでしょうか。

A：上の(a)・(b)・(c)は実は同じ1つの質問、1つの課題なのです。前にも言った通り、発音練習はふつう細かく区切って単純化して行います。フィットネスジムのトレーニングもそうですね。ナントカ筋を鍛えるナントカ筋トレとか。

n と ng の発音もそこに狙いを定めて練習しますが、「中国語の音節」の図を思い出して（見返して）ください。両者は音節のシメに当たる韻尾すなわち



final (ending) であって、少なくとも韻腹（主母音）が前に来ないことには音節となり得ません。ですから、本当に聞き分けるのは n と ng ではなく、例えば en と eng とかになるわけです。

実は、みなさんもう立派に聞き分けていますよ。

（甲） 钱 qián / （乙） 强 qiáng

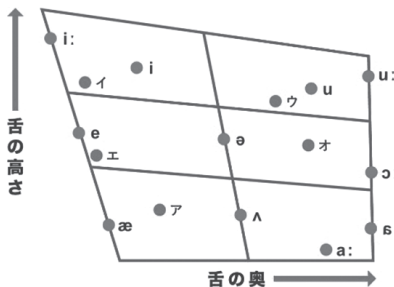
聞き分けられますよね。（甲）のような音節は、「イアン」じゃなくて「イエン」ですよ！という練習でやったので、そっちに気を取られていましたね。

（丙） 跟 gēn / （丁） 更 gēng

の e はわたしたちの耳にはそこまで大きい違いに聞こえないだけなのです。下図で言えば、（丙）の方は中段の前方、「エ」の近く、（丁）の方は中段の後方、「オ」に近づくわけです。

ちなみに、国際音声記号（発音記号）で表わせば、前者は [ən]、後者は [ɛŋ] となります。（<https://solo-language.com/pronunciation-short-vowel/>）

#### 母音の舌の位置と息を出すポイント



（甲）の場合は n と ng だけでなく前方の i の影響もある（[iɛn]）ので別ですが、早い話が n の前の a や e は短く鋭く発音するように、ng の前の a や e は本当に微妙ですが少しぼんやりと発音するように心掛けてください。これがコツです。

ちなみに、国際音声記号（発音記号）で表わせば、前者は [an]、後者は [aŋ] となります。

13 Q：わたしが難しいと感じた発音は zi, ci, si です。

A：難しいのは発音ではなく、発音する際に「自分のローマ字読み」が介入してきているだけです。あと少しの頑張りでクリアーできます。

14 Q：h を喉の奥から発音しているのですが、h 感が出ているのか不安です。

A：「寒い、寒い、ハ～」とやってみてください。

15 Q：だんだん自分の発音が中国語っぽくなっていていっているような気がして  
いて嬉しいです。

A：素晴らしい感性です！

もう80歳になられているということなのですが、水森亜土（みずもり あど）  
というイラストレーターの人が、昭和の時代にテレビで中華の調理を披露して  
いて、司会者にコツはありますか？と聞かれ、「中国人になってま～す！」と  
答えていたのを思い出しました。

16 Q：zuzu, zizi は zuzu が口をすぼめて zizi が日本語の「い」の口で発音  
するのかと思ったのですがあっていますか？

A：半分合って、半分違っています。思い切ってカタカナで理解してもらいま  
しょう。

zizi ツーツー zuzu ツウーツウー

「い」の口の チーチー は jiji です。

17 Q：lǚ この発音はやはり難しいです。

A：l も ü も第三声も難しいから、難しいと感じられるだけ正確に診断ができ  
ているということです。もし簡単だと感じる人がいたならその人の発音練習が  
心配です。

18 Q：未だに三声の音程が定まらないです。

A：第三声を制する者が声調を制す、と言ってよいでしょう。第三声を瞬時に  
十分低く制御できなければ、上げ下げの幅が保証されないからです。

喻えてみましょう。人工呼吸で胸の辺りをグッ、グッと押しますね。あれを  
声でやる意識というか、机の上に小さいけど嫌いな虫がいるのを発見して、触  
りたくないの、声で圧をかけて動けなくするというか、そのような秘密練習  
をしてみませんか。

音楽の「音程」とは違って四声の区別の高低の型（「調類・調値」）ですから、  
音痴だとか絶対音感だとかとは関係ないということは確認しておきましょう。

19 Q：-eng で口の動きが大きく変わるのも一つ目の e が疎かになってしま  
います。

A：それは悪いことではないですよ。e はあいまいな母音なので、変に力が入  
ってしまうと、かえってよくないです。

20 Q：zhu と言ったつもりが ju のようになってしまったり、shu と言った  
つもりが xu のようになってしまったりします。

A：日本語専用（少し英語対応可？）になっている「耳－口－脳」の連絡に

対して融通を求めて働きかけるのは骨が折れます。べつに具合が悪くなっているというわけではないのに、いわばリハビリみたいなことを繰り返さないといけないからです。しっかりしているほど手間がかかります。少しの辛抱です。

21 Q : can, cong, zicai などの c をどうしても k で読んでしまいます。

A : 先に日本語専用の連絡に割り込み成功した英語さんが「いけず」をしているのです。

22 Q : 困難を感じた発音 si や ci を「シー」と発音してしまう。

A : これは頑固な日本語さんがちょっかいを出しているんですね。

23 Q : “九” の発音がなぜかとても好きです。

A : “酒” も同じ発音です。

24 Q : “东、长” の筆順が文字化けしてしまい、読めなかったので、また上げていただきたいです。

A :



[www.zhenbi.com/zk/ 长.htm](http://www.zhenbi.com/zk/长.htm)

[www.zhenbi.com/zk/ 东.htm](http://www.zhenbi.com/zk/东.htm)

今後確かめたい筆順があれば、Google で例えば 长 笔顺 の要領で調べてみてください。（筆順 bǐshùn）

25 Q : 中国語をパソコンで打てるようになったのですが、ピンインを表記できません。調べてもよくわからなかったので教えていただけたら嬉しいです。

A : 設定で中国語は打てるようにできますが、ピンインまではカバーしていません。

わたしは（パソコンがちょっと古いので）「高電社 ChineseWriter11 スタンダード」のだいぶ前のバージョンを使っています。ただ、2万円ちょっとしますので、そこがネックでしょうか。あと、ずっと以前「pin 太郎」というのが無料で提供されていたのを思い出し調べてみたところ、「WG ピンイン IME」というのになっていました。フリーのようですが、IT に暗いわたしにはよくわからないので検索してみてください。

26 Q : 家での学習が続いているため、毎日の日課のように中国語の勉強に取り組んでいます。ほんの少しずつですが中国語ができるようになったのではないかと錯覚しています。これからもその少しできたという喜びを得ながら学習に取り組んでいきたいと思っています。

A：錯覚けっこう！ポジティブな錯覚や思い込みは学習意欲の維持にいい効果があるかもしれませんから。

27 Q：3と4は（都・不・是）の順番が違うのですが、何か意味があるのでしょうか。

3 他们都不是中国人。

〔彼らは全員中国人ではありません。

（彼らはどちらも中国人ではありません。）〕

4 他们不都是日本人。

〔彼らはみんながみんな日本人だというわけではありません。

（彼らはどちらもが日本人だというわけではありません。）〕

日本語は「2人」と「大勢」で言い方が変わります。

中国語はそうではないので、どちらか分からないですね。

3は「都」が〔不是中国人〕に前置されそれ全体にかかっています。

一方、4は否定詞の“不”が“都”に先行するので部分否定になります。つまり、〔都是日本人〕を“不”がひっくり返しています。「全員が（どちらもが）日本人である」のを否定、「全員が（どちらもが）日本人であるというわけではない、日本人でない者もいる」ということになります。

英語の例を見ると部分否定を感覚的に思い出しませんか。

I'm not always busy.

私はいつも忙しいというわけではありません。

Not all children like apples.

すべての子供がリンゴが好きだとはかぎらない。

儿化が打てなかったという報告がありました。例えば“哪儿”を出したいときには、narと打ち込んでください。ただ、“那儿”の方も候補になりますのでよく確かめてくださいね。

28 Q：「どこ」という単語を検索した際に“哪儿”のほかに“哪里”の表記も出てきたのですがどういった違いがあるのですか。

A：表記の違いではなく別の2つの単語になります。ほぼ同じ働きをする疑問詞だと認識してください。

わたしたちが学ぶ中国語は中国の共通語“普通话”です。共通語ですが一定の規範を設けているので標準語の側面も持ち合わせています。すごく大雑把に言えば、「どこ」という意味を表わす疑問詞は広い中国の中に数多ありますが、それぞれ“哪儿”が北の方からの代表，“哪里”が南の方からの代表として選

ばれているというふうを考えておきましょうか。「r」の発音が得意な人はもともとそう多くないところにもってきて、北京の辺りの人たちはなまりと言ってよいほど「r」だらけの発音です。そういったことからこうなったのでしょうか。

でも、わたしたちは外国語として中国語を学ぶのですから、深入りせずに、教科書に出てきた順に学んでいきましょうか。

まったく同じというわけでもありません。「いえいえ；どういたしまして」と言いたいときには“哪里，哪里”とは言いますが，“哪儿，哪儿”という言い方はありません。いずれにせよ，広がる話ではないので，これまでにさせてもらいます。

29 Q：“呀” ya についてなのですが，教科書の付録の単語帳を見ても意味がよくわかりませんでした。“吗” ma と同じように疑問文を作る助詞なのでしょうか。

A：いいえ，同じ語気助詞ですが“吗” ma のように諾否疑問文を作るわけではなくて，一般的な説明によれば「文末に置いて感嘆を表す」とありますが，それでは分かりにくいですね。「気持ちを添えてぎこちなさを減らす」って感じだと言っておきましょうか。“呀” ya は“啊” a がリエゾンで音が変わり，この字で表わしているわけです。つまり，例えば「観音様」が

「かん おん さま → かのんさま」となるように，“谁” shéi の音節末の i と a がリエゾンして ya になり，“啊” のままでもいいけれども別に“呀”という字が用意されたのです。 谁呀？ Shéi ya？ だね？

30 Q：どのような場合に当否疑問文は反復疑問文に置き換えられないのでしょうか？

A：ただ単に YES / NO を尋ねるのでなければ反復疑問文は使いません。例えば“你去不去？”は「行く／行かない」だから反復疑問文になり得ていますが，“你也去吗？”は「行く／行かない」に加えて「あなたも？」という要素が入りますから，＊“你也去不去？”は正しい文にはなりません。

微妙に異なる字形があるからファーストコンタクトで気づけたらいいですね。

喝 (中国語) 喝 (日本語)

31 Q：先生の資料内では「na3r」と記載されていますが実際にパソコンで入力する際「na3r」では表示されず「na3er」と入力すると“哪儿”が表示されます。これはどちらが正しいのでしょうか。

A：このような声が寄せられました。まず整理しましょう。「na3r」の記載はピンインを「nǎr」のように表記できない，もしくはしないときに以前（パソ

コンなど見ない頃）から広く用いられている表記法（の一種）であり、パソコン入力を示すものではありません。

さて、パソコン入力ですが機種（Microsoft, Mac）やそのバージョン、アプリケーションソフト（中国語ワードプロセッサ）の種類、さらにはお国柄で異なります。ちなみにわたしの使用しているものでは（3なしの）「nar」「naer」のいずれでも入力できます。どうぞみなさんのご使用のもので慣れてください。

下に示すのは台湾のスマホの例です。参考までに。

注音符号（ちゅういんぷごう）



倉頡（そうけつ）



32 Q：以下のような日訳は？

3 你 明天 走 还是 后天 走？

Nǐ míngtiān zǒu háishi hòutiān zǒu ?

あなたは明日歩きますか、それとも明後日歩きますか。

あなたは明日行きますか、それとも明後日行きますか。

A：“走”は「（人・乗り物や位置を変え得るものが）動いて位置を変えていく → その場を離れて移動する → （もとの本来の姿から離れてしまう）」意を表します。

ですから、「行く」はあまり該当する場面を想像できません。「行き先があってそこへ行く」という意味を表わす動詞は“去” qù になります。“走”は行き先には無関心な動詞です。

また，“走”はスピード的には「歩く」に当たりますが、それはヒト（という生き物）が走るとか跳ぶとかといった特別な形態をとらずに移動するという意味においてです。ですから，“走吧。” Zǒu ba. と言えば、「さあ、行こう」ということ、すなわち普通にここを離れよう（立ち去ろう）ということになります。ちなみに、ウォーキングの意味で歩くというならば，“歩行” bùxíng という動詞になります。

?? あなたは明日歩きますか、それとも明後日歩きますか。

?? あなたは明日行きますか、それとも明後日行きますか。

ということで、上の2例のような訳は、絶対にナシとは言いませんが、相当キビシイです。

33 Q: 2番のような例は、日常会話においてはすこし不自然だと感じました。飲むという動詞が使われていますが、コーヒーが好きか、紅茶が好きかというように意識してもいいのでしょうか？

2 你喜欢喝咖啡还是喜欢喝红茶？

Nǐ xǐhuan hē kāfēi hái shì xǐhuan hē hóngchá ?

2 あなたはコーヒーが好きですか、紅茶が好きですか。

A: 相当に昔のことになりますが、帰国子女の後輩の人と喫茶店で会話をしているときに、「ピアノが好きなんだあ」と相槌を打ったら、「ピアノが好きなんじゃなくて、ピアノを弾くのが好きなんです!」と厳しく言い返されたことがあります。英語では play を伴う英語の表現に慣れていて、ついフェティシズム（物体崇拜）だと言われたと勘違いをしたのでしょうか。中国語も日本語では入れない動詞を必要とすることが多いのだと理解してください。

① あなたはコーヒーを飲むのが好きですか、それとも紅茶を飲むのが好きですか。

② あなたはコーヒーが好きですか、それとも紅茶が好きですか。

③ コーヒーにしますか、それとも紅茶にしますか。

どれも誤答ではありません。①は外国語の学習でおなじみの逐語訳ちくごやくです。不自然ではあるけれども勉強だから仕方ないですね。現実には③の場合が多いかもしれません。お友達の家にお邪魔してお母さんにこう問われるひよりみかもしれませんね。意識と言えば意識かもしれませんが。わたしは日和見なので②を選びましょうか。

ちなみに中国語の“学生”は小学生から大学生までのすべてを含みます。一方、日本語ではあたかも出世魚のように「児童」（小学校）→「生徒」（中・高）→「学生」（大学）のように異なります。みなさんは「生徒」ではなくて「学生」です。ですから、1の訳は「きみは生徒なの先生なの。」ともなり得ます。私の小学校の同級生のYくんは（見た目「子供離れ」こどもはなれしていて）よくそう訊かれていました。

34 Q: 中国語で先生は“老师”で、男性に対する敬称は“先生”ですが、日本語の「先生」という単語とは何か関わりがあるのでしょうか。



A：これらは中国語から取り入れられた種類の語ですから、意味に変化が見られるとはいっても当然のこととして関連がないことはありません。だからこそ、違いが気になるし、注意を要するのです。“老师”は日本語ではぐっと縮まり禅宗で修行僧を指導する僧などを指す語として生き残っています。一方、“先生”は広がりをもって繁栄していますが、用法に違いが生じています。

“老师”は（多く小・中・高の）学校の先生を表わします。大学も含むと考えますが、以前“老师”と呼ばれ侮辱されたと嘆く中国某有名大学の教授の話を開かされたことがありますので、一部微妙な感じは残ります。なぜかと言えば、中国語では知識人には“先生”を用います。例えば、魯迅ならば“鲁迅先生” Lǔ Xùn xiānsheng と呼ぶのが普通です。かの先生はご自身に子供にものを教える学校の先生よりも知識人であるとの認識をもっておられたのでしょうか。

“先生”はべつに知識人でなくとも男性なら丁寧な扱いをされる場面では使ってもらえます。女性は“女士” nǚshì や“小姐” xiǎojiě になります。テレビに登場する素人さんたちも、例えば“鈴木先生”・“张女士”・“王小姐”のように呼ばれます。

Ladies and gentlemen, good afternoon! を中国語訳すると以下のようになります。

先生们女士们，大家下午好！ Xiānshengmen nǚshìmen, dàjiā xiàwǔ hǎo!  
さらに、以下のこともおさえておきましょう。

“先生”には夫を指す意味もあります。“她先生是法国人。”（彼女のご主人はフランス人です）また、占い師や風水師などの特別な職業の人のことを“…先生”と呼ぶこともあります。

日本語ではお医者さんに「先生」と呼びかけたりしますが、中国語では“大夫” dàifu と呼びかけます。

あと、（人に教えるほどの）技能・技術をもっている師匠・親方は、中国語では“师傅” shifu となりますが、美容関係とかのお洒落な世界では“老师”が使われたりします。



美容スタイリスト kevin 凯文老师

Kǎiwén

35 Q：今回の数量詞を習う上でネット等で調べながら学習しました。“条”は「通り・魚・川・犬・紐など細長いものに使う」との記述を見かけたのですが、この記述は正しいのでしょうか。記述のように数量詞はそれぞれがどのような名詞に付くかをグループ化して覚えることはできるのでしょうか。

A：「細長いものに使う」は悪くはないのですが、「細長いものに使う」量詞は、例えば“枝” zhī や“根” gēn などともそうですし、「魚」や「犬」が「細長い」かどうか微妙ではありませんか。この説明をディスるわけではありません。簡潔に説明するのが難しいのです。“条”は“人命 rén mìng (人の命) “好汉 hǎo hàn” (立派な男) “新闻 xīn wén (ニュース) 等々にも使われます。

日本語の助数詞で考えてみましょう。日本語の「本ほん／ほん／ほん」はその発音の変化だけでも外国人学習者泣かせですが、用法を教えてくださいと言われたらもうお手上げです。「鉛筆・指・道・トンネル・注射・電車・バス・記事・原稿・論文・番組・連載・電話・ホームラン・ヒット・ジャンプ・シュート・契約・クジの当たり・武術の勝敗」等々一つの共通の特徴にまとめて説明することはできないし、したところであまり意味がありません。

例えば、机を支える部分を何と言うかと問われたら、「机の脚ですか」と言ったりしますね。そうなんです。言語は比喩の力を借りて成り立っているのです。“条”や「本」は比喩に頼って意味拡張を繰り返して広い用法をもつに至っています。これらについての研究も少なくありません。ですが、それをまとめて教えてもらったところで、実際に役立つとは思えません。

用途の範囲が限られた量詞では簡潔な説明で事足りるかもしれませんが、用法の広がり大きいものではいっぺんに覚えようとせずに、新しい用法に出逢うごとに感動とともにその知識を加えていくのが現実的でしょう。

36 Q：この質問は少し揚げ足取りだと指摘されるかもしれませんが、例えば“瓶”で表すビールがコップに注がれている状態だったら“杯”で表されるなどの変化があるのでしょうか。また、「対のもの」を表す“双”で片方だけの靴を指す場合は数量詞に変化はあるのでしょうか。

A：その通りです。容器を量詞に転用するのですから、理屈から言えばあらゆる可能性が許されます。わたしたちは貧乏学生だったころ紙コップなんかもないので、ジャンケンでその辺にあるものを選んでビールを注いで飲み会をしていました。とはいっても、勉強ですからそんなことは言っていられません。効率を考えて可能性の高い順で覚えていくしかありません。

「対のもの」は“双”と“对” duì があります。“双”は原則として本来的

にペアをなすものに、“対”は人為的・臨時的にペアをなすものに使われます。例えば、カップルや夫婦などには“対”が用いられます。花瓶や枕など“対”で販売されるものも多いので注意が必要です。靴の片方は“一只 zhī 鞋”，箸の片方は“一根 gēn 筷子 kuàizi”となります。“一支 zhī 烟 yān”（たばこ 1 本）・“一盒 hé 烟”（たばこ 1 箱）・“一条 烟”（たばこ 1 カートン）、たばこもこのように言い分けられます。

37 Q：ここまで 8 週間の学習を重ね、中国語の書き言葉は簡単な文章はかける数が増えるなどの成長が見られますが、発音はまだ会話の先生に注意されることが多々あります。書き言葉と話し言葉の上達には差が出るものなのでしょうか。

A：「話し言葉／書き言葉」は一般に「口語／書面語」の意味で使われますから、趣旨に従えば「ライティング／オラル」の意味で理解していいでしょうか。ただ、英語と違って中国語は入門期の学習ですから「ライティング」と言っただけになりそうなので、中国語教育の世界ではよく「听、说、读、写四个技能」tīng、shuō、dú、xiě sì ge jìnéng が大切だということが言われます。「きく・はなす・よむ・かくの 4 つのスキル」を揃えて伸ばしましょうということを目指すものです。

でも、これは教える側の理屈です。教授者にとっては大事な姿勢かもしれませんが、お題目的なノリとしても悪くありません。しかし、教わる側が入門期や初級段階であるにもかかわらず、4 つのスキルを意識しすぎてもあまりメリットはありません。考えてみてください。漢字に慣れ親しんでいる日本語の話し手と漢字と無縁で育った国や地域の学習者とは「書く」と言ってもスタートが大いに異なりますし、控えめで謙虚なのが美德になり得る日本文化の中で暮らしてきた人と自己主張することがごく当然なことである文化で育った人とは「話す」練習も様相を異にするでしょう。すなわち、学ぶ側にも個性が出るわけですから、あまり気にせず自分なりに自由に学んでいけばよいと思います。

“听、说、读、写四个技能”で足りないところを指摘するのは、経験豊かな先生の方の仕事です。自己抑制しない自由な学習意欲と指導をポジティブに受け取る素直さが上達の極意かもしれません。

外国語だから発音が不十分なのは当たり前です。10 数年前に閉店した中国料理店で注文するたびに発音が悪いと大きな声で叱られたものです。“芹菜 qíncài 牛肉 niúròu”（牛肉とセロリのピリ辛炒め）が美味しいので注文するのですが、“青菜 qīngcài 牛肉 niúròu”（牛肉とチンゲン菜のピリ辛炒め）

はないよ！と攻めてくるのです。その店では美味しい料理にもありつけるし、発音の指導も受けられたのです。時にはうざったく感じることもありましたが、そういう時には発音指導ではなく文化を教えてくれているのだと自分に言い聞かせました。

38 Q：練習1の4の場合、地下鉄に乗る、百貨店に行く、クリスマスプレゼントを買う、という動作や行為の順番は変わってもいいのですか。日本語だと多少変わっても意味は通じますが、中国語だとどうなるのですか。

4 ぼくは地下鉄でデパートにクリスマスプレゼントを買いに行きます。

〔㊦百貨商店 bǎihuò shāngdiàn, ㊩地铁 dìtiě, ㊵圣诞礼物, ㊶买,

㊶我, ㊶坐, ㊶去〕

4 ㊶ ㊶ ㊩ ㊶ ㊦ ㊶ ㊵

我坐地铁去百货商店买圣诞礼物。

A：中国語は形態変化を持たない言語です。例えば“我”は主格も目的格もありゃしない、いつも“我”です。日本語のような「が」も「を」ありません。自ずと語順が重要な文法手段となるわけです。

実は、日本語にしても「通じる」のと「標準的である」のとでは温度差があります。中国語においても、取り乱して語順バラバラで話しても、日本語ほどではなくても聞き手の努力や文脈の助けで「通じる」ことはあるかもしれません。でも、それはわたしたちの学習目標の範囲ではないので、規則に沿って文を作ることに慣れましょう。

そして、連動文においては1つの主語（動作主）の下に動詞句が並ぶわけですが、前の動詞句が後の動詞句の手段・方法・理由等を表わし、後の動詞句が前の動詞句の目的等を表わすことが多くなるので、そのように理解して学ぶとより効果的だと言えるでしょう。

39 Q：方位詞の“里”・“上”は英語で言えば in, on に相当するのでしょうか。また、中国語には前置詞のようなものは存在するのでしょうか。

A：第11課で（動詞“在”から派生した）前置詞の“在”が登場します。この“在”は英語で言えば in に近いものと考えてもらってよいでしょう。ちなみに、日本語には前置詞ではなく後置詞があります。言語一般にこれらは存在します。これらがないと文の要素の整理整頓ができなくなります。

“里”・“上”などの方位詞は前置詞とはまったく異なるものです。中国語に特徴的なものであると考えてください。

中国語の世界では前置詞のことを“介词” jiècí と呼びます。ですから、先

生によっては「介詞 かいし」のように呼ばれるかもしれません。

下の中国語・英語・日本語の文を見比べてみましょう。

我们 平常 在 公园里 吃 午饭。 Wǒmen píngcháng zài gōngyuánlǐ chī wǔfàn.

We usually take our lunch in the park.

わたしたちはふだん公園（の中）でお昼を食べます。

動作・行為の行われる場所を表わす句が、中国語では“在”で、英語では in で、日本語では「で」で標が付けられていますね。一方、“里”に当たる語は、日本語ではオプショナルですがむしろない方が普通でしょう。英語では思い浮かびません。「ビールは冷蔵庫にあるから。」と言うとき、日本語は‘中ですよ’、言わなくても分かってよ～、英語は‘中に決まっているだろう！’という構えであるのに、中国語は例外はあるものの律儀につけるのです。それが方位詞です。

40 Q：“都是我自己用的东西”ですが、なぜ“我”と“自己”が重複するのでしょうか。

“有”で作る疑問文に“有”で答えたり“是”で答えたりしていますが、どちらも使えるということでしょうか。

A： 这个盒子里有什么东西？

B： 是一件日本工艺品。

A： なかなか鋭い観察眼ですね。確かに，“有”で尋ねられたら“有”で答えるのが普通だと思いますよね。

でも，‘人間だもの’臨機応変にいろんな技を使います。つまり，文法の問題ではなくてコミュニケーションの問題なのです。相手が何か疑って訊いていと察したり，こちらが何か隠そうとしている場合には，普通の受け答えに‘味変（あじへん）’してこのような反応をしがちです。

私の友人のSくんは学生のとき職務質問されることがよくありました。大きなバッグを持って歩いていると警察官に呼び止められ，「そのバッグの中には何が入っているの」と訊かれます。「（それは）全部洗濯物だよ。」彼はいっぱい溜まった洗濯物を実家へ持って行って洗濯してもらっていました。

41 Q：“一看就明白。”という文は「見ればすぐにわかりますよ。」という訳で合っていますか？

A： はい，それで合っています。“一 … 就 …”を文型として覚えておきましょう。  
一 … 就 … ： 文型 …するとすぐ…。…すると必ず…。

42 Q: なぜ2と4の問題には“的”があり、1と3には“的”がないのですか？  
(類似の質問他に1件)

A:

対面	的	电器店里	上边儿	的	衣服
向かい	の	電気店(の中)	上	の	服

方位詞は名詞の中の一つです。この“対面”と“上边儿”はごく普通に名詞として(一般の名詞と変わることなく)働いています。ですから、“的”が入らないといけません。

一方、“商店东边儿”や“百货商店旁边儿”の場合は、日本語ではこちらも同様に「お店の東側」、「デパートの横」と言いますが、前にも説明した通り中国語の場合は方位詞を伴わない“商店”や“百货商店”だけでは場所を表わせないのです。「東側」や「横」ですからそう感じないかもしれませんが、“电器店里”の“里”と同じ役割を演じているのです。たまたま日本語では「中」と「上(表面)」は省略し得る一方で「東側」・「横」は省略できないという違いがあるので混乱してしまうのです。

电器店 里 / 东边儿 / 旁边儿 / ……

どの方位詞をとるかは別にして方位詞をとることが必須なのです。一般の名詞にはない方位詞のスペシャルな役割です。中国語では生まれながらの場所である地名や一部のどう考えても場所じゃないのっ、といった一部の名詞を除いて方位詞の力を借りないと場所を表わすことができないのです。いわば“場所バッジ”みたいなものです。この任務を遂行するときには“的”は入れません。よいフレーズを思いつきました。

場所バッジ 後ろに付けて “的” を入れず

43 Q: -bianr と打っても簡体字が正確に出てきませんでした。“边儿”のピンインについてなのですが、パソコンだと bianer と打たないと簡体字に変換できません。教科書に書いてある、bianr というピンインは略してあるものだという認識でよろしいのでしょうか。また、実際は bianer と読めばよいのですか。

A: 前に「入力方法」ということで関連したことを述べました。まず、整理しておきましょう。ピンインは“汉语拼音字母” Hànyǔ pīnyīn zìmǔ のことです。中国語の表記法の一つです。そして、質問者が困っているのは、ピンイン入力で目的の漢字列がうまく出てこないということです。

Windows PC なのか Mac なのかといった機種、version はどうか等々で内蔵のワードプロセッサが異なりますし、特別な中国語ワードプロセッサを



入っていればまた状況は変わってきます。わたしの場合は旧いバージョンですが ChineseWriter というのを入れているので、ご質問のような苦労はなくて済んでいます。

要するに、ピンイン通りに打って出せないことがある、出し方が分かれば出せるということですね。ただ、自分の入力方法は必ずしも中国語の表記法にイコールではないので、使用パソコンでは bianer と打たないと出てこなかったからといって、それはソフトの問題であって中国語のピンイン綴りを、さらには発音を変えてしまっただけということにはなりません。

分かりにくければ日本語に置き換えて考えてみましょう。わたしは日本語の「ん」を出すとき n n と打ちます。では、「ん」を「ぬぬっ」と発音していいのかと言えばそういうことはないですね。専用ソフトのようにはいかないとしても、それほどの手間がかかるわけではないので、慣れてくれば気にならなくなるはずです。

**おまけ** ピンイン（“汉语拼音字母”）は作られた当初は、将来は漢字に代わる中国語の正書法にするのだという理想があったようですが、実際にはわずかに教育の場などで使用されるにとどまっていた、現在では主に中国語母語話者以外の人用の入力に用意されるのが主たる用途の一つです。しかも、声調符号も含まれてのピンインですから、正確に言えば bianr や bianer 等々はピンインでもありません。

「簡体字」とありますが、“边儿”はたまたま簡体字ですけれども、中国語で使う漢字がすべて簡体字であるというわけではありません。「簡体字」は『簡化字総表』に収められている漢字（字体）に限られます。

次の文を中国語に訳しなさい。（簡体字を使うこと）

わたしは日本人です。 ⇒ （ ）

このような問題に答えられますか。わたしは解答できません。なぜならば、“我”，“是”，“日”，“本”，“人”のいずれも簡体字ではないからです。

気にせずそういう言い方をする人も多いのですが、指摘して角が立ってもいけないので、ふだんは見過ごすようにしています。

44 Q：“一”の発音について、yī と覚えたのですが、単語によって yí や yì に聞こえます。前後の言葉に応じて四声が変わるのでしょうか。

A：“一”の発音は yī ですが、後に第四声が続くときには第二声 yí に変調し、後にそれ以外の声調が続くときには第四声 yì に変調します。ですから、ふつ



うは第二声 yí か第四声 yì で発音されるのですけれども、序数（ものの順序を表わす数）として言う場合には本来の第一声 yī で発音します。さらに、これから学ぶ動詞の重ね型に挟まって使われる場合などでは軽声に発音されます。（例 看一看 kàn yi kàn）。

45 Q：問4の「行く」という動詞は“去”も使えますか？

4 今日の前中、おじいちゃんは6回トイレに行きました。

〔厕所 cèsuǒ, 次, 今天, 了, 六, 上 shàng, 上午 shàngwǔ, 爷爷 yéye〕  
今天上午爷爷上了六次厕所。

A：ここの「トイレに行く」は「用を足す」という意味です。この意味では“上厕所”という言い方をし，“上”を“去”とすることはできません。例えば日本語でも「将棋」は「指す」であるけど「囲碁」は「打つ」と結ぶというように組み合わせが決まっている場合が少なくありません。これをコロケーションと言います。

「用を足す」のではなくて、掃除や修理とか見学とかの他の目的でトイレに足を運ぶのならば，“上”との組み合わせは解消され，“去”を用いることになるでしょう。

46 Q：ピンインが分からなくて中国語を打つのに時間がかかります。これは自分でテキストなどを見て探せばいいのですか？

A：よいところに気づきがありましたね。これがいちばん大変で長く骨が折れます、サクサクできるようになったときいちばんうれしいかもしれません。この試練を乗り越えないと、ずっと初級のままで終わってしまうおそれがあります。いまはその都度テキストをあちこちめくって苦労が多いかもしれませんが、出てくる単語を漢字・ピンイン・意味のセットでインプットし続ければ、日々の“筋トレ”が効いて“筋肉”がつくように力がついてくる、そうなればいいなあと思ってあせらず倦まず励みましょう。

ちょっと補足しておきましょう。漢字の9割以上が形声文字です。形声文字は意符（事物の類型を表す記号）と音符（発音を表す記号）から成りますので、読める（発音できる）漢字が増えれば増えるほど楽になってきます。例えば「青・清・請・精・靖」の音読みがみな「セイ」だといつの間にか身につきましたね。これらの中国語読みは，qīng qīng qīng jīng jìng です。無気・有気や声調のズレはあっても仲間だとすぐに分かります。読める（発音できる）漢字を増やして学力を向上させないといけませんし，学力が向上すれば（発音できる）漢字も増えていきます。わたしたちはピンインに頼って学習しています

から、ピンインを覚えると言ったりしていますが、実は読める（発音できる）漢字を増やしているのです。

47 Q：“报纸”は“报”一語でも新聞という意味になるのですか？

A：どちらも1語、すなわち単音節の“报”も複音節（二音節）の“报纸”も1つの単語です。“报”はべつに“报纸”を省略したものではありません。『白水社 中国語辞典』では以下のように解説されています。

〔‘张’＋〕新聞・雑誌などの印刷用紙。≡白报纸，新闻纸。◆以前，北方方言では新聞は‘报’と言い，‘报纸’は専ら新聞印刷用紙（または古新聞紙）を指したが，現在では‘报纸’を‘报’と同じ意味に用いる。

48 Q：6番の問題で出ている“吧”の使い方を教えてください。

6 もうしばらくゆっくりしてくださいよ。

〔吧，你，一会儿，再，坐 zuò〕

你再坐一会儿吧。

A：“吧”は別冊付録の単語帳に記すように、断定的な言い方を避ける気持ちを表わす語気助詞です。ですから、命令・勧誘・推測などに使います。文末に付ければ、「座れ」が「座って」に、「行くぞ」が「行こう」，「降るぞ」が「降るんじゃない」のように言い方が柔らかくなる効果が期待できます。

49 Q：副詞が多く出てくるようになり、それをどこに入れるかが難しいです。特に今回の練習問題は2番の“还”を入れる場所が難しかったです。副詞は特に強調したい語の前に置く，というとらえ方で良いのでしょうか。私は2番を，「(新聞を)読んでいない」ことを強調したいのだと考え，“没有”の前に副詞を入れました。しかし，「今日，読んでいないこと」を強調したいのであれば，“今天”の前に副詞が来るのでしょうか。

A：まず2点確認しておきましょう。

① 中国語の副詞は文法的な働きをする語類であり，英語のように連用修飾をするものをざっくり副詞とするのとは異なります。そんなに多くはなく，機能語ということになります。

② 安易に「強調」とか「強調する」という言い方はしないようにしましょう。ナニをドノヨウに強調するのかを問わずに「強調する」という言葉を使うのは，説明に困った先生の逃げ道として残しておいてください。(^^)

2番では“还”も“没有”もどちらも副詞です。(ここの“没有”は動詞ではありません) そんなにパターンはないので目で見て，口に出して読み，書いたりして練習していれば，おのずと覚えてしまうと思いますよ。

先述の通り、基本語順は既習言語の英語風、修飾関係が前から後ろへの日本語風であるのが中国語の特徴です。覚え込まないで理屈に頼ると、両方からの干渉に遭ってこんがらかってしまいます。覚える方から攻めていけば、逆に両面からの助けが入ると思いますよ。

日本語で「まだ…していない」と言いますね。中国語でも前から後ろへ“还没有…”ですし、VO だから“…看报”です。

50 Q: “吧”や“呢”はどのように使うのでしょうか？また日本語に訳したらどのような訳になりますか？

A: “吧”は別冊付録の単語帳に記すように、断定的な言い方を避ける気持ちを表わす語気助詞です。ですから、命令・勧誘・推測などに使います。文末に付ければ、「座れ」が「座って」に、「行くぞ」が「行こう」、「降るぞ」が「降るんじゃない」のように言い方が柔らかくなる効果が期待できます。

“呢”は別冊付録の単語帳に記すように、事実を相手に確認させる気持ちを表わします。教科書では、最初に“……呢？”と、「……は（どこ〔所在〕／どうなっているの（文脈により）？）」のように省略した疑問文を作る形で出てきます。また、進行態の終わりに付けます。さらに、「…は（ね）…」のように列挙したり、「…ならね」仮定したりするときに用いられます。昔、あるネイティブの先生がオフレコなんだけど、「相手にねばりつくような感じがする」とおっしゃっていました。

51 Q: “我只喝了西北风”という一文は、ことわざのような、決まり文句のような、中国人の間ではよく使われる言葉なのですか？

Q: 「すきっ腹を抱えている」を“喝西北风”と表現するのは面白いなと思いました。中国語の他の慣用表現にも興味が湧きました。

A: “喝西北风”のような語類は“慣用語” guànyòngyǔ (イディオム) と呼ばれます。ここの台詞はネイティブ・チェックで小首をかしげられてしまいました。汗かきながら説明したら、まあいいでしょうとなりました。申し訳ない。見逃してください。

ちなみに、この教科書では“开夜车” kāi yèchē 「(仕事・勉強などで) 徹夜する」という“慣用語”も出てきます。問題ない形です。

52 Q: 離合詞の動詞なのかはどのように見極めるのでしょうか。

A: 離合詞はけっこう多いのですが、教科書ではその課その課で学ぶ目標があるので、なるべくややこしくなる離合詞は避けられるのでしょうか、あまり出てこないようです。

ちゃんとした辞典では、例えば xǐ // zǎo や xǐ ▲ zǎo のようにピンインに工夫がされていてそれと分かるようになっています。

ここまでは解説しました。VO の構造の 2 音節（＝漢字 2 字）の語、すなわち、O に当たる部分が単語として自立し得ないもので、VO 合わせて 1 語とするものです。

辞典を持っていなくても、ググったりすれば、ネットに開放されている辞典にアクセスすることができ、そのうち『白水社 中国語辞典』では以下のようにそれと分かるように工夫された形で出てきます。

帮忙 ピンイン bāng//máng

ただ、できれば手で触って持てて生で検索することのできる辞典を用意することをお勧めします。

例年は秋学期に学部（＝学科）で作成した「書籍（＝紙の）学習辞典活用（携行）のすすめ」という小冊子を配布しています。そろそろその時期なのですが、本年はこの状況なので、（今回はちょっと容量が大きくなりましたので、そのうち）この添付ファイルにてお届けしようと思います。書籍（＝紙の）学習辞典を使って中国語の基礎能力を養成しましょう！

53 Q：1 番と 4 番の問題に出ている“很”という語ですが、日本語では「とても」を表す際に使うと習いました。1 番では日本語文に「とても」の意味は出ていませんし、4 番では「太」がその役割を果たしていると解釈しました。“很”はどういうときに使うのでしょうか。

A：第 6 課で形容詞述語文を学習しました。

形容詞述語文

你写的字很漂亮。

Nǐ xiě de zì hěn piàoliang.

あなたの（書いた）字は美しいです。

肯定文では（例えば“真”のような他の程度副詞がない場合）ふつう少なくとも“很”を添えます。もし“很”なしで“裸のまま”では、主語の位置にくるものが持っている性質（属性）を表し、比較・対照する意味合いを帯びます。

这个字好（，那个字不好）。

Zhèige zì hǎo（，nèige zì bù hǎo）。

この字はいいですねえ（あちらの字はよくないけど）。

もともと程度副詞なので「とても」という意味を表します、と教えれば楽だし、教わる方も引っ掛かりを感じないでしょう。しかし、それは方便であるので、

「とても」という訳語を当てるとおかしいからさりげなくそうしないで、気がつかれないことを願うこともあります。なぜなら、入門期にあまり理屈を言って教程のスムーズな進行を妨げて困ると心配するからです。次の英語の文を見比べてみてください。

A There is a book on the desk. 机の上に本が（1冊）ある。

B Please have a seat. どうぞお掛け下さい。

Aの文は不定冠詞の a を「1冊」と訳せば学習者の疑念を招かなくて済みます。では、Bはどうでしょう。「1つの席に掛けてください」ではいかにも不自然になってしまいます。不定冠詞の a は複数では付かないので「1」で間違っているかもしれませんが、実はそういった語彙的な意味を表すためではなく、文法的な要請で必要とされているわけです。

実は、“很”も文法的な働きをしているのであって、「とても」と訳してもOKな場合もあるというのが実情なのです。次の2つの文を見てみてください。

A 我要一杯咖啡。 コーヒーをください。

Wǒ yào yì bēi kāfēi.


B 我给你们介绍一下，这位是张主任。 紹介いたします。この方が張主任です。

Wǒ gěi nǐmen jièshào yíxià, zhè wèi shì Zhāng zhǔrèn.

「コーヒー1杯をください。」「ちょっと紹介いたします。この方が張主任です。」でいいんじゃないかと思ってもいいでしょう。でも、映画の台詞を翻訳する仕事に就いたら、力不足だと言われてしまうでしょう。

英語で物質名詞の扱いについて学んだことがありますね。waterではなく、a glass of water や a bucket of water のような言い方をするようになっていと思います。これを難しい言葉で表現すれば「<sup>ゆうかいが</sup>有界化」です。漠とせずボーダーがはっきりする様です。こう考えてください、中国語の世界は、物質名詞にとどまらず名詞全般に、さらに動詞や形容詞が担当する範囲にまで広がってきているというわけなのです。15世紀頃からそうやってきたという説を唱える学者もいます。

結論的に申します。いまはその気づき、その向学心を少し抑えて、あまり気にせず学習を続けてください。ちなみに、例えば“\* 很 错 hěn cuò”がアウトなのは「間違っている」に程度はそぐわないからです。

中国語 あの手この手で 有界化 

話が広がりすぎたのでまとめましょう。科学的な文法研究の成果を取り入れながらも、外国語の習得のための学校文法は方便も用います。日本語母語話者

のための中国語の学校文法では、漢文の読み下しの伝統の影響があるのかもしれませんが。日本語と中国語を一対一で対応させて語彙の意味を与えて、知らずしらずスムーズに習得してもらおうといった手法が優勢です。「1つの」とか「とても」とかの訳語の効用に頼りがちです。しかし、それらに対応させたい場合には、こっそり外したりします。質問者のように鋭い学習者はそこに気づいてしまうわけです。上述のように、学説を持ち出して解説すればしたで、かえって戸惑いを招くこともあるでしょう。

いずれにせよ、いずれも健全な反応なのです。日本語母語話者の言語能力はすでに日本語という言語に最適化されています。免疫反応のように、守りに入る力が働くからです。学習者個々その強さや出方が異なるので、あちらを立てればこちらが立たずのようなことになってしまいます。

語学では あれやこれやの 工夫かな 🤖

54 Q：資料内にある車の例文の中で「ちょっと高い」が“有点儿 贵”で表され、「少し高い」が“贵 一点儿”で表されているのはどういった違いがあるのでしょうか。日本語では「ちょっと」も「少し」も同じ意味で使われるので中国語ではどのように違うのか教えてください。

A：“有点儿”は話し手にとって好ましくないことについて主観的に「少し…」という言い方で、形容詞や動詞の前に置きます。一方、“一点儿”は比較した結果としての「少し」という差を表し、形容詞や動詞の後に置きます。

値段が高いと不満を訴えるには“有点儿贵”としますが、「値段が高いこと＝不満」ではないですね。値段が高いことを自慢げに話したり、ただ単に値段の差を語ることも当然あり得ます。ですから、“贵一点儿”（ちょっと高いかな）と言ってもごく自然な表現です。

55 Q：4番の問題で「この品は品質は…」という文がありますが日本語のニュアンスを変えて「この品の品質は…」という“的”を使う書き方でも書くことはできますか。

A：まず、主述述語文（二重主語文）という構文を学んでいる課に設けられている教材であることをご理解ください。

2つの主述述語文が合体した少し入り組んだ文になっています。図示すれば下のようになります。

この品は	「品質がよい」	+	（この品は）	「値段が高い」	→	この品は品質
S	V (S + V)		S	V (S + V)		はよいが、ただ
						値段が高い。



### 主述述語文（二重主語文）

述語の部分が「主語＋述語」のかたちで構成されます。

今天 天气 真 热。

Jīntiān tiānqì zhēn rè.

きょうはお天気がほんとうに暑いなあ。

我 肚子 疼。

Wǒ dùzi téng.

わたしはお腹が痛いです。

「この品の品質は…」という“的”を使う書き方ではどうか、と工夫を巡らす積極的な姿勢は評価に値します。でも、そうはしないのが中国語らしさになります。

56 Q：進行中であることを表すとき“呢”は毎回文末につけたほうがいいですか？

A：かなり以前卒業したNくんの口癖が「省略できませんか？」でした。この場合，“呢”は義務的に求められる成分ではなくて optional なので省略することができます、というか最初から付けなければそもそも省略かどうかもありしいところですよ。

彼には「せっかく勉強しているのだから付けておきませんか」と提案していました。彼の関心事である“省略”が実行されるまでもなく、覚える機会に省略を望んでいると、覚えるに至らず、省略もできなくなってしまいますから。

57 Q：進行態の“在…（呢）”・“正在…（呢）”・“正…（呢）”・“…呢”の使い分けがわかりません。どのように使い分ければよいのでしょうか。

A：“…呢”は言いきりですから、例えば「ちょうど…しているときに…」と言ったりするときには登場できません。他の3者は違いなどを意識せずにどれかを使ってください。ただ、文法的に言えば、“在…（呢）”が進行態を受け持つ“ご本家”であって、そこからバリエーションが生まれたと考えればいいので、前2者により正式な感じを覚えてもらうのがよいかなとは思います。

58 Q：“不，我一边学习一边吃饭”は「勉強しながら食べる」という訳になっていますが、「少しご飯を食べて、少し勉強してを繰り返す」イメージなのかと考えたのですが、合っていますか。

A：“一边…一边…”という文型は動作・行為の具体的な様態には無関心ですので、具体性を特定することはできません。いずれにせよ、食事だけに専念するわけでもなく、かといって勉強だけに専念するわけでもなく、両者が同時に動作主（主語）の行うところとなるということのみ示されているにすぎません。自由に想像してかまいません。



でも、基本的に大切な夢です。実に面白い指摘になっています。想像も含め、世の中に満ち溢れる、表現すべきもしくは表現したいことは無限です。一方で、語彙や文型は有限です。有限で無限を表現するのが言語です。言語は比喩の力に援けられますし、伝え合うには非言語コミュニケーションなどの動員も欠かせません。

59 Q：質問です。中国語では省略できるときはなるべく省略しなさいと習ったのですが、省略しなければならない単語と省略してもしなくてもいい単語の差はありますか。

A：例えば、友達が来ていっしょに試験勉強をしていて、あなたが冷蔵庫からヤクルトを取り出して飲もうとしたときに友達と目が合いました。「飲む？」って言うかもしれませんね。でも、「あなたもヤクルトを飲みますか？あなたも飲むのだったら持って来て飲ませてあげるよ」の省略した形で言葉を発したわけではないですね。

前にもお話ししましたが、外国語を教えたり習ったりするときに、つい便利だから「省略する」とか「強調する」とかという言い方が利用されます。方便です。いちいち理屈の世界にとどまって議論していたのでは勉強が進まないの、そういうことにしておきませんかという程度のことです。

「省略」と思える事象が現れるのは、言語の問題というよりも多くはコミュニケーションの範囲での操作に伴うのではないかと思います。強いて一般論として言えば、文脈依存性が高ければそういう傾向が高い言語だと言えるかもしれません。中国語よりも日本語がよくその例として挙げられます。

帰宅した小学一年生の子が「お母さんは？」と言うように、中国語でも“妈妈呢？”と言うことはできます。所在を尋ねるだけです。省略疑問文などと言う名で習いますね。でも、中国語は文脈依存性が日本語ほど強くないから、お客さんにコーヒーを入れてあげて“糖呢？”Táng ne? と言っても日本語の「お砂糖は？」と同じ自然さは表現できません。“加不加糖？”jiā bù jiā táng? などと言わないといけません。

ですから、特別な意図がなければ省略する・しないを問う必要はありません。ただ単にその都度適切に表現するだけです。省略する意識とは無縁なはず。しかし、外国語学習は母語の習得のように自然任せにはいかず、効率よく入門期を終えなければ先に続きませんから、いわば潤滑油的な方便としてかかる説明がよく利用されます。何かおかしいなと気づいてもあまりナーバスにならずに、学習が先に進む喜びの方に気をそらせていきましょう。

60 Q: “上”と“起”の違いは“上”は形のあるものに対して, “起”は形のないものにたいして使うという解釈で合っていますか?

また, “起”の対義語も教えていただきたいです。

A: 学習が生き生きとしていろんなアイデアが湧いてきている様子ですね。ただ, 今回の想像は勇み足です。形のあるもの・ないものに基づく分析は初耳で興味を引かれないわけでもないのですが, そのようなことはないと思います。

一般の語彙ではなく文法機能について対義語という言い方は馴染まないかと思いますが, “上”は“下”と対立的な働きをして, ある意味ペアかもしれませんが。片や“起”の方にはお相手はいません。“上”には上方の目標とするとところがあるのに対して, “起”は上方へ向かうだけで目標点は想定されません。

61 Q: 4は疑問文なのに“吗”がなくてもいいのですか?

4 你 刚才 看见 他 没有?

Nǐ gāngcái kànjiàn tā méiyǒu?

あなたはさっき彼を見かけましたか。

A: “看见”の否定は“没(有)看见”となりますね。よって「肯定+否定」は“看见 没(有)看见”となり, ダブった“看见”を取れば“看见没(有)”, 文末なので“没”ではなくて安定する“没有”の方が選ばれて“看见没有”となって「肯定+否定」の反復疑問文となります。

文末に“吗”を付けるのは当否疑問文でしたね。教科書の12-13頁を復習してみてください。

62 Q: 54頁の対話2の“借来”が“借”だった場合どのような違いがありますか?

A: 「省略できませんか」もありましたが, 「換えられませんか」ということでしょうか。できればそのまま受け容れて学んでもらいたいのですが, 知的な興味もまた学習の肥やしかもしれませんね。(^^)/

“我向 xiàng 图书馆借的书”(図書館から借りた本)と言えば, 借り先が図書館であることを表しています。一方, “我从图书馆借来的书”(図書館から借り(てき)た本)ならば, (借り先なんだけど)持ってきた先が図書館だということも併せ表わしています。“向”が動作・行為の向かう相手を導く前置詞であるのに対して“从”の方は起点を導く前置詞です。起点ですから本が移動して来ないとミスマッチとなります。セットで表現しているので, 片一方だけをいじってはおかしいことになってしまうし, そのまま覚えてもらえば自ずと前置詞の理解も少しですけど進むのではないかと期待します。

63 Q：中国語を学習しておよそ半年が経ちますが、英語学習と同様に発音と語彙が必要だと感じました。そのため、中国語の単語帳などは必要なのでしょうか。それとも教科書にある文法を一通り覚えることに力を入れた方が良いでしょうか。

A：この教科書は入門用としては他に類を見ないほどの語彙を学習してもらうようになっています。学習するときは便宜上、語彙の習得とか構文の理解とかとあたかも別個のことのようによわられることもあるかと思いますが、言語としては1つのものですので、あまり細かいことは気にせずに勉強してもらえればと思います。

もちろん、ご自身で必要と感じるものがあればご用意ください。当方としては、この前ご紹介したように、書籍（＝紙の）学習辞典があればそれに越したことはないと思います。多く『日中中小辞典』のようなおまけもついていますので。いわゆる教育基本語彙には十分対応できるでしょう。<sup>しいてき</sup>恣意的に語彙を集めて並べたものはお薦めできませんし、流行語や新語で気になるものが出てきたときなどにはネット検索ということになると思います。

64 Q：

① “听不懂”と“听得懂”は、どちらも「聞いて分からない」という否定的な意味ですか？そうであるとする、練習1の1番のように“能”という肯定的な語と“听得懂”が並んでいるのに違和感があります。反復疑問文のようなものですか？

また、“猜不出来”の“出来”は、方向補語の派生義として「わかる」という意味をもつのですか？

1 她说德语，我哪能听得懂呢？

德语：ドイツ語

Tā shuō Déyǔ, wǒ nǎ néng tīngdédǒng ne ?

彼女はドイツ語をしゃべっているので、わたしに分かるわけないでしょ。

② 5は反復疑問文であるため、“你当天能（可以）回来吗？”のような言い方もできるのでしょうか？

5 当天 回得来 回不来？

当天：（同じ）その日（に） 当日

Dàngtiān huídelái huíbulái ?

日帰りできますか。

③ 3の“我吃不下 了。”と“我不吃下 了。”はどういう違いですか？“不吃下”でひとつのかたまりということですか？

3 饭太多了，我吃不了。

Fàn tài duō le, wǒ chībuliǎo.

ご飯が多すぎて食べきれない。

A : ③の質問は打ち誤りではないでしょうか。“我不吃下了。”や“不吃下”は意味が取れないのでちょっとパスします。ただ、「ひとつのかたまりということ」という感覚はすばらしいと思います。学習上、「ひとつのかたまり」と捉える学びは効果が大きいです。

一生懸命理解しようとして、理屈と理屈が‘けんかして’。こんがらかってきたりします。いまそうやってきたのはどうしてでしょう。第11課のQ&Aをおさらいしてみましょう。

Q : “能”は英語のcanと同じように考えてよいのでしょうか？

A : いいえ。まず、「…できる」は“能”だけではなく、“会”・“可以”と分担しています。それでも他の二者は‘脇役’で‘主役’は“能”だから、便宜的に“能” = canのように考えておいてもよさそうかもしれませんが、実は事情は大きく異なります。話し手の判断の気持ちを込めて「…できる」と言うときを除いて、中国語で「…できる」意味を伝えるのにはふつう第16課で学ぶ可能補語を用います。その意味では、この可能補語をこそ先に学ぶべきですが、学習上の順序は残念ながらどうしても後回しになってしまうのです。“能”を「大丈夫、できます」のように理解してもらったのもそういう事情からです。

そうなんです。赤を入れた箇所に注意してください。「…できる」が助動詞に任されているならば、この困難もなかったはずです。英語のcanに倣えばほぼそれでいけるでしょう。しかし、“能”は「(大丈夫だよ) …できるよ」「…してもらえる?」「…しちゃだめだ」くらいの範囲しか手が出せず、具体的に「…できる／できない」は可能補語に任されるのです。可能補語はその造りからして、ただ「…できる／できない」だけではなくて「どのように…できる／できない」の形になるので、多種多彩で一律に捌け<sup>さば</sup>ないところが大変で、個別に相当数覚えていって、やっと身につき始める代物<sup>しろもの</sup>です。例えば、同じ「食べられない」でもつぎのようにいろいろな「食べられない」で言い分ける仕組みです。

吃不了：chībuliǎo (たくさんあって) 食べきれない。

吃不下：chībuxià (もうお腹がいっぱいだから) これ以上は食べられない。

吃不下去：chībuxiàqu (食べても) 喉を通らない。

吃不到：chībudào (ありつけないので) 食べられない。

吃不惯：chibuguàn 食べ慣れない，食べつけない，口に合わない。  
吃不来：chībúlái (食べ慣れなくて) 口に合わない，食べられない。  
吃不起：chībūqǐ (お金がなくて，身分不相応で) 食べられない。  
吃不上：chībushàng 食事にありつけない，食いはぐれる。  
吃不着：chībuzháo (手が届かず) 食べられない。

他の動詞も同様に多くの「…できる／できない」の形をそなえています，互いに連関を持たないわけでもないので，覚えていけばカンが養えますし，きつと楽しさも見つかるはずです。

①の質問の“猜不出来”は“出来”が「分かる」という意味をもつのではなく，“猜”（推量する）しても答えが“出来”しない（出てこない）という造りになっています。例えば，目隠しをして何の飲み物か当てるゲームで「分からない」は“喝不出来”と言えよ！し，もう還暦をすぎたんですよと言う人に，そうは見えませんか（お若いですよ）と言うには“看不出来”（お見かけしたところそのような年齢は出てきません）と言ったりします。

「肯定／否定」ですが，可能補語の用途は否定的発言にあるとはいえ，③の質問にある反復疑問を作るのに肯定形が必要です。（助動詞の守備範囲ではないので，当然“你当天能（可以）回来吗？”のような言い方はできません。）

②の質問については，いま一つ反語について思い出してもらわないといけません。“哪能…呢？”は反語を作る文型です。反語を用いないならば“她说德语，我听不懂。”となりますが，反語ですから反語の常套の文型に乗っかるとしても否定形を肯定形にひっくり返さないといけけないので，“她说德语，我哪能听得懂呢？”となるわけです。

実際のコミュニケーションを離れて，文法面だけで考えればややもすると理屈と理屈が‘けんかして’。こんがらがってきたりするので，そこを補っておきたいと思います。ちょっと話が大きくなりますけれども，中国の人びとの生き方・暮らし方に思いを寄せてみましょう。キーワードは“面子” miànzi です。日本語で言う「メンツ」などとは違い一人ひとりこれをととても大切にして生活しているようです。“丢 diū 面子”（面目を失う）を恐れ，“顾 gù 面子”（面目を重んずる）なので，自己主張を抑え，なあなあで済ますのを嫌う傾向が強く，言うべきは言う，反駁することも厭いません。また，人にご馳走する際には相手が降参するほどの多くのものを用意します。もちろん，あくまでも一般的傾向です。

お店でなく自宅に招かれても，“吃不了” など馳走が用意され，盛んに勧め

られます。“谢谢，我实在吃不下了。”と言えなくては大変なことになります。

「ひとかたまり」で覚えて、それを蓄えていくことも、理屈で理解する文法力を支える身体に刻む文法力です。

65 Q: 練習1の4 「日本を離れ中国へ帰る」は、英語の構造であるように「回中国离开日本」という言い方で表現することは出来ないということでしょうか？

4 わたしは来週には日本を離れ中国へ帰ります。

[回，就要，了，离开 líkāi，日本，我，下个星期，中国]

我下个星期就要离开日本回中国了。

A: 英語と中国語と日本語はそれぞれ系統も異にする別個の言語ですので、それぞれ別個の構造を持ち合わせています。人類の言語としてある種の共通の性質といったものの存在は認めるとしても、文の組み立てにおいて個々の共通性を求められるものではありません。

とはいえ、外国語の学習を英語で始めて、しかも一生懸命に学習した経緯から、つついわたしたちの他の外国語の学習に顔を出して干渉してくることは避けられません。わたしが学び始めたクラスでも、中国人の先生の会話の時間に Yes ! とか No ! などがまざったのを懐かしく思い出します。脳の中での交通整理がうまくいかない時期があるのです。英語の勉強も頑張ったし、中国語に対しても一生懸命であることの証左でしょう。

66 Q: 練習2の2 「彼はあなたほど賢くはない。」という日本語訳を使うことはできますか？

2 他 不 像 你 这 样 聪 明。

Tā bú xiàng nǐ zhèyàng cōngmíng.

彼はあなたのように賢くはありません。

A: 先に解説したように、その訳語は原文を反映せず使うことはできません。「彼はあなたほど賢くはない」のような比較の表現は、この教科書では第20課で学びます。

“他不像你这样聪明。”は“他不〔像你这样〕聪明。”すなわち、「あなたは賢いけれども彼はそうではなくて、賢くない」ということです。一方、「彼はあなたほど賢くはない。」と言えば、「彼」と「あなた」の賢さを比べて彼はあなたに劣るということになり、彼が賢くないとは言っていない。

たいして違わないではないかと思われるかもしれませんが、でも、意味なく無理やり訳し分けを強いているわけではありません。いまわたしたちは中国語を学び始めています。中国語としてははっきり異なる構文をあやふやな訳し分け



でもかまわないとしていたら、中国語の学習に差し支えが生じるからこそ小う  
るさい感じに一言注文をつけざるを得ないのです。

67 Q：質問（確認） 問題1にある“忽然” huārán は“突然” tūrán とは  
違うのでしょうか。“忽然” huārán を辞書でうまく見つけることができな  
かったので、お聞きしたいと思いました。

1 教室に不意に保護者（父母）が駆け込んできた。

〔里，家长，忽然，跑，个，教室，一，进来〕

教师里忽然跑进来一个家长。

A：ごめんなさい。抜けていたでしょうか。ピンインが誤っていたので検索で  
きなかったのではないかと推測します。別冊の単語帳の方で確認してください。

別冊34頁 忽然 hūrán （副）思いがけなく 急に

別冊41頁 突然 tūrán （形）突然である 出し抜けである

“突然”が形容詞であるのに対して“忽然”の方は副詞です。“突然”は連用修飾  
として働くときには副詞の“忽然”と同じように見えますが、例えば“太突然！”  
Tài tūrán!（あまりに出し抜けだ）のように述語にもなります。ちなみに、  
「忽然」は「こつぜん」と読みます。

68 Q：“样”について調べると、種類を表す量詞ということがわかりましたが、  
事物の種類を数えるならば何にでも使えるということでしょうか。

A：（「何にでも」がどのくらいを想定した表現かわかりませんが）何にでも使  
えるということは当然あり得ないですね。もしそうなら、量詞は“样”1つ  
あれば事足りるということになりますから。ある辞典から用例を拾ってみました。

两样家具 liǎng yàng jiājù：2種類の家具。

几样糖 jǐ yàng táng：数種類のキャンディー。

好几样家用电器 hǎo jǐ yàng jiāyòng diànrì：多くの種類の家庭電器。

各样货物 gè yàng huòwù：各種の品物。

许多样动物 xǔduō yàng dòngwù：多種種類の動物。

吃了两样菜，一样是凉拌黄瓜，另一样是炒黄瓜。chī le liǎng yàng cài,

yí yàng shì liángbàn huángguā, lìng yí yàng shì chǎo huángguā.

（2種類の料理を食べた，1つ（の種類）はキュウリのあえもの，別の1つ  
（の種類）はキュウリ炒めである。）

抽象的な解説より具体的な用例から入る方が習得の近道です。



69 Q：前回の部分についての質問になりますが，“在V”と“V着”の違いがいまひとつわかりません。どちらも「…している」と訳すことができるので、その違いを教えてください。

A：例えば、バターとマーガリンの違いがよく分からないということならば、確かに両者は見分けが付きにくいし用途もほぼ同じで、パンに塗ってあると分からないのも無理ありません。

しかし，“在V”と“V着”の違いが分からないと言われても、両者は違うものであるし、働き・用途も違うわけですから、理屈上はパンとバターの違いが分からないという訴えに近いわけです。

我在换衣服呢。 \* 我换着衣服呢。

Wǒ zài huàn yīfu ne. huànzhe

着替えているの。

墙上挂着一张去年的挂历。

Qióngshang guàzhe yì zhāng qùnián de guàlì.

壁に去年のカレンダーが掛かっている。

\*墙上 在 挂 一张去年的挂历。「\*」は非文を示す。

「在」と「着」は音も字も異にし、互いに取り替えることもできません。「在V」がよく分からない，“V着”もよく分からない」ならば個々におさらいをすればよいのですが、「在V」と“V着”の違いが分からない」は、どちらも「…している」と訳すことができるから、というところからの短絡が原因になっています。

「おまえら同じ訳になるじゃないか、似ているな、どこが違うんだ?」「ほくら、見た目も違うし、やっていることも期待されていることも違うんだけど…。」共通点を見出して推理を深めるというやり方は人間の思考力の一つだとは思いますが、適用を誤るとそれが無意識であるので、このワナから抜け出すのが大変になります。

Several fast-food restaurant did not open the door.

いくつかのファストフードレストランでは、ドアが開いていない。

この場合には、「開いていない?」「…していない」だから be opening じゃないの?! とはならないでしょ。

你 已经 死了。 おまえはもうすでに死んでいる。

Nǐ yǐjīng sǐ le.

“V着”でなくても「…している」と訳すことができる場合はたくさんありま

す。一生懸命勉強していると場合によってつい「思考力暴走のワナ」に陥ることがあるので注意しましょう。別個に理解しましょう。分ければ分かる！

前回の第19課の“把”字文は呑み込みにくい構文だったみたいですね。さらに工夫した解説が必要でしたね。申し訳ないです。正答は僅かでしたので、誤答に言及するのはよしにしましょう。いま一度、角度を変えた感じで解説を試みましょう。

まず，“把”字文は中国語のそんなにいくつも無い構文（文の組立て）の一つです。もっとも主要な構文である，ふつうの SVO とは異なる文の組立ての一種です。第18課の存現文もそうです。ちなみに，文型というのは覚えておく と便利なよくある型式（類型）です。

さて，“把”字文は「特定の事物にナニナニしてドウコウナラセル」という積極的な処置を表す表現を作るものです。もともととは処置文や処置式などと呼んでいました。

“把”はもともと手でつかむという意味の動詞です。「コレ，コレをなあ」と手にとって「…するう～」といった感じで後ろの動詞句をとった連動文の形が常用されて“把”が前置詞になったのでしょうか，おそらく。昔の先生は「…をば…する」と古文のような訳語で教えたりしていました。

咱们把这只小猫买回去吧。

Zánmen bǎ zhè zhī xiǎomāo mǎihuíqù ba.

この子猫ちゃん買って帰りましょうよ。

これは通常の構文でも表すことができます。

S            V            O

咱们 买回 这 只 小猫 去 吧。 ※“去”は“买回去”の“去”

Zánmen mǎihuízài zhè zhī xiǎomāo qù ba.

この子猫ちゃん買って帰りましょうよ。

教科書にある上の方の文は，ペットショップですごく気に入った子猫を買って帰り，家庭の一員に迎えようという意欲が伝わります。

下の方の文は文法的に誤りではありませんが，日常的に子猫を買って帰るのでないと相応しいとは言えません。お寿司屋さんが豊洲の仲卸<sup>なかおろし</sup>からいつもの魚介類を買ってかえるような雰囲気になります。

嗯，你先把它放在床上吧。

Ng, nǐ xiān bǎ tā fàngzài chuángshang ba.

そうだねえ，とりあえず（それを）ベッドの上に置いてもらおうか。

こちらの文は通常の構文にはできません。

嗯，你 先 放 它  
在 床上 吧。

目的語の“它”：ボクの優先席だよ！

定着表現“V在…”の“在…：わたしもここのチケット持っているよ！  
こんなことになってしまいますから。そうなんです。補語が発展増殖し、定着表現“V在…”や到着表現“V到…”等のような動詞の後ろをがっちりおさえる構造が根づいて、本来ならば消えていってもおかしくなかった“把”字文が今日に残って活躍するようになったのです。本来は通常の構文 SVO の O（目的語）の位置に来る名詞成分が“把”に手をとられ S + “把” + O + V + [処置内容] の形になるわけです。

練習問題で言えば、

“作业”・“本子”・“来福”・“这只小猫”等を“把”にくっつけて（主語の後）動詞句の前に持っていけないといけません。

- 1 わたしは宿題をやり終えました。  
〔把，了，我，做完，作业〕  
我把作业做完了。
- 2 彼は宿題をやり終えていません。  
〔把，没，他，做完，作业〕  
他没把作业做完。 否定詞や助動詞は“把…”の前に置きます
- 3 ノートを机の上に置いてください。  
〔把，本子，放，请，在，桌子上〕  
请把本子放在桌子上。
- 4 あなたラッキーをつないで。  
〔把，来福，你，起来，拴 shuān〕  
你把来福拴起来。
- 5 やはりこの子猫を買って帰りましょうよ。  
〔把，吧，还是，买回去，小猫，咱们，这只〕  
咱们还是把这只小猫买回去吧。

5の“还是”を先頭に置いてしまったばかりに惜しい誤答となった回答がけっこうありました。「やはり うちらこの子猫を買って帰りましょう」ではなくて、「うちら やはり この子猫を買って帰りましょう」だから，“还是”は主語の“咱们”の後に持ってこないとなります。

視覚化して練習してみましょう！



咱们



把

把 这只小猫



买回去 吧。



嗯，你 先



把

把 它



放在 床上 吧。

70 Q：1 番の場合，私が宿題をやったということが“把”を使うことにより強調されているでしょうか。

A：いいえ，気になっているもの（＝宿題）を処置する（＝終わらせる）のです。前にも言いましたが，安易に「強調する」という便利な言葉を使わないようにしましょう。

71 Q：“把”は肯定文の場合主語の後に来ると考えてしまってよいのでしょうか？

A：そうではありますが，動詞句の前に来るという方向で覚えてください。

72 Q：持続を表す“着”と進行を表す“在”は，どちらも“…している”という訳が使われることがあるが，その場合，日本語から中国語に訳すときは，動作が持続しているか進行しているかを判断して，“着”か“在”を使い分ければよいということでしょうか。

A：その通りです。その通りなのですが，「使い分ける」ということは「どちらも『…している』という訳が使われることがある」からということですね。論理的に正しいのですが，その手順を踏まずにパッと分かるようになりたいですね。

まず，以下の教材の解説を借ります。利用してみるのもよいかと思います。  
「東京外国語大学言語モジュール＞中国語＞文法モジュール＞持続を表す“着”」  
<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/gmod/contents/explanation/046.html>

\*\*\*\*\*

## 2. 動作の進行と状態の持続

“着”は動きの静かな動詞の後に付き、状態が持続していることを表します。

我去的时候，发现门开着。

(私が行ったとき、ドアが開いているのに気づきました。)

[Wǒ qù de shíhou, fāxiàn mén kāizhe.]

今天她穿着一件很好看的衬衫。

(今日は彼女はきれいなブラウスを着ています。)

[Jīntiān tā chuānzhe yí jiàn hěn hǎokàn de chènshān.] (例文一部省略)

これらの例でも、＜動詞＋“着”＞の部分は、動きのない、静止した状態の持続を描写している点に注意してください。動きのある動作が進行している様子は、中国語では副詞“在”(cardset-045)を用いて表します。したがって、例えば

他在做什么？(彼は何をしていますのですか。)

という質問に対して、

他在打篮球。(彼はバスケットボールをしています。)

と答えるとき、問いも答えも副詞“在”を用いますが、＜動詞＋“着”＞を使って

\* 他打着篮球。(＊は非文(文法的に誤った文)を表す)

と言うことはできません。

## 3. 否定形

前述したように、否定形は副詞“没(有)”で否定し、“了”と違って“着”は否定されても消えずに残ります。ただ“着”は話者が目の状態を描写することが主要な働きなので、否定形は実際にはあまり用いられません。

## 4. 他のよく用いられる文型

### (1) 連動文において

“着”は＜動詞1 “着”＋動詞2＞という連動文(cardset-033)の第1動詞に後置して、第2動詞が表す動作が行なわれる際の付帯状況を表します。

躺着看书对眼睛不好。

(寝転がって本を読むのは目によくありません。)

[Tǎngzhe kàn shū duì yǎnjīng bù hǎo.]

开着窗户睡觉很凉快。

(窓を開けて寝るのは涼しいです。)

[Kāizhe chuānghu shuìjiào hěn liángkuai.]

### (2) 存在文において

＜場所／時間＋動詞“着”＋人／物＞という存在文(cardset-062)で動詞に

後置され、目的語の表す人や物が主語の表す場所や時間に存在していることを表します。

桌子上放着一本词典。

(机に辞書が1冊置いてあります。)

[Zhuōzi shang fàngzhe yì běn cídiǎn.]

客厅里坐着两位客人。

(応接間にお客が2人座られています。)

[Kètīng lǐ zuòzhe liǎng wèi kèrén.]

\*\*\*\*\*

よく似ていて区別しにくい。だって、どちらも「…している」という訳が使われることがあるからということになりますが、こういった場合の学習にはコツがあります。「見比べない、気にしない」です。見比べると混乱しますし、気にすると不安になります。両者は違うんだ、関係ないんだと、別個に攻略すれば意外と難しくはありません。

動作の進行を表す“(正)在”と持続を表す“着”を併用することも可能であると説き、わざわざ無理くり作ったような用例まで添えているのがネット上にありました。

動作の進行形を表す“正在”と動作が持続している時の“着”は併用することも可能です。小李正在努力地学着汉语呢。(李さんは一生懸命に中国語を勉強しているところです)

([www.jc280.com/2019/04/16/zai-and-zhe/](http://www.jc280.com/2019/04/16/zai-and-zhe/))

こういうのには近づかないようにしましょう。進行の形式だけで充分、“着”云々は余計です。

まずは進行相をマスターしましょう。形式は“在”(副詞)を使って“在…(呢)”(バリエーションとして“正在…(呢)”, “正…(呢)”)で、使う文脈も至って単純明快です。

さて、もう一方の持続の“着”(助詞)ですけれども、こちらは「持続の表現」としてまとめて学ぶのは得策ではありません。大体以下のように個別に出会うことになると思います。

- 存現文の単元で存在文を作る。
- “V 着 V”で「…しながら…する」。 e. g. 站着吃(立って食べる)
- 課題にあったような状態の持続。「ドアが開いている／いない」「カギがかかっている／いない」など。

- “V 着 V 着…”で「…しているうちに…」 e. g. 走着走着天渐渐  
jiànjiàn 黑了。(歩いているうちにまわりが暗くなってきた)

他にもありますが、その都度足していく構えで大丈夫でしょう。

留学生からみそ汁とけんちん汁とは似ていると聞いたけどどう区別したらよいのかと問われたら、わたしならこう助言します。気にしなさんな、きみが出会うのはほとんどみそ汁だと思うよ、まれにけんちん汁が出されてもそのときはウンチクとか一言あると思う、もし、うちの地方ではけんちん汁に味噌を入れるとか言いだしたら耳をふさぎなさい、と。

73 Q: “把”の使い方を、補習を通して学びましたが、文のどの位置に置いたらよいのかいまだにわかりません。決まった場所などは存在するのでしょうか。

A: “把”字文は語順が変わるのです。どう変わるかと言えば、中国語はS OV 型の日本語とは異なり、英語などと同じSVO 型のグループですから、本来、S (主語) + V (述語動詞) + O (目的語) に並べますよね。

S V O

咱们 买回 这 只 小猫 去 吧。 ← ふつうのSVO

Zánmen mǎihuízè zhī xiǎomāo qù ba. ※ “去”は“买回去”の“去”

この子猫ちゃんを買って帰りましょうよ。

“把”字文は、話し手が感情移入する対象(気持ちを寄せるもの・嫌なものなど)に対し…して(…のようにする)と、話し手の主観的処置を表します。

具体的には、SVOのO(目的語)に来るべき名詞成分を“把”で前に引っ張りだして、一見あたかもSOV型の日本語のような語順にしてしまうのです。

咱们 把 这 只 小猫 买回去 吧。 ← “把”字文

Zánmen bǎ zhè zhī xiǎomāo mǎihuíqu ba.

この子猫ちゃん買って帰りましょうよ。

74 Q: こういうときは“把”が必要(あった方がよい)というような状況はありますか? 慣れないうちはどの文も“把”のない普通の文で表してしまいそうです。

A: 確かに、上の子猫ちゃんを買って帰ることは通常のSVO文でも表現できますね。ある子猫ちゃんに魅せられてぜひ自分の家の子にしちゃうんだぞお! という話し手の気持ちまでは伝えられませんが。





咱们



把

把 这只小猫

かわいい！気に入ったぞ！



买回去 吧。

うちの子にしちゃうんだ！

では、

嗯，你 先 把它 放 **在 床上** 吧。

← “把” 字文

Ng, nǐ xiān bǎ tā fàngzài chuángshang ba.

そうだねえ、とりあえず（それを）ベッドの上に置いてもらおうか。

はどうでしょう。SVO 文は作れませんねえ。動詞の“放”の後ろ、すなわち O（目的語）が座席がもう **在 床上** という補語にがっちりおさえられているからです。こういう場合には“把”字文に頼るほかありません。意味的にも‘処置’に間違いはないので願ったり叶ったりです。“把”字文はなくてはならない場合もありますから、しっかり身につけましょう！

“作业”・“本子”・“来福”・“这只小猫”等を“把”にくっつけて（主語の後）動詞句の前に持っていけないといけません。

- 1 わたしは宿題をやり終えました。

〔把，了，我，做完，作业〕

我把作业做完了。

- 2 彼は宿題をやり終えていません。

〔把，没，他，做完，作业〕

他没把作业做完。

否定詞や助動詞は“把…”の前に置きます。

- 3 ノートを机の上に置いてください。

〔把，本子，放，请，在，桌子上〕

请把本子放在桌子上。

- 4 あなたラッキーをつないで。

〔把，来福，你，起来，拴 shuān〕

你把来福拴起来。

- 5 やはりこの子猫を買って帰りましょうよ。

〔把，吧，还是，买回去，小猫，咱们，这只〕

咱们还是把这只小猫买回去吧。

5の“还是”を先頭に置いてしまったばかりに惜しい誤答となった回答がけっこうありました。

「やはり うちらこの子猫を買って帰りましょう」ではなくて、「うちら やはり この子猫を 買って帰りましょう」だから，“还是”は主語の“咱们”の後に持ってこないといけません。

75 Q：“拴起来”で「つなぐ」という意味になるのですか？“你把来福拴。”だけでは意味は通じないのでしょうか？

A：“起来”の使い方から見てみましょう。

複合方向補語の“起来”が動詞“拴”に接続しているのです。中国語は形態変化（活用）はありませんが、ではむき出しの動詞だけでいつも使えるかといったら、そうではありません。これら方向補語や結果補語が接続してはじめて実際の使用に堪えるといってもよいでしょう。思い出してください。具体的に「…できない／できる」は助動詞ではなくて可能補語を使うと学びましたね。補語の接続した形でないと「…できない／できる」も表現できなくなってしまうすよ。

拴 shuān：【動詞】くくりつける つなぐ 縛りつける

把船[拴]住 zhù。船をしっかりと繫ぐ＝船を係留する。

他给鱼钩 yúgōu [拴]上 shàng了坠子 zhuìzi。彼は釣り針におもりをつけた。

把小偷 xiǎotōu 用绳子 shéngzi [拴]起来 qīlai, 押到 yādào 公安局 gōngānjú 去。どろぼうに縄をかけて警察に連行する。

把马[拴]在 zài 一棵树上。馬を1本の木につなぐ。

“拴起来”の“起来”は上の写真の解説では②に当たります。

「しばる」系とか「片づける」系は“起来”と仲良しです。

そう言えば、英語でも bind up/clean up でしたね。

76 Q：この“来”は何ですか。

俗话还说“狗拿耗子”，来福那条狗那么淘气，

Súhuà hái shuō “gǒu ná hàozi”, Láifú nà tiáo gǒu nàme táoqi.

你別把它帶到里面来，好不好？

Nǐ bié bǎ tā dàidào lǐmiàn lái, hǎo bu hǎo?

ことわざでは、犬がネズミをとる — 余計なお世話をする、っても言うわよ。ラッキーのやつはほんとうにいたずらなんだから。ラッキーを家の中に入れないでくれるっ。

A :

第7課

A : 吳先生, 您到我的办公室来。

Wú xiānsheng, nín dào wǒ de bàngōngshì lái.

呉さん, わたしのオフィスに来てください。

この“到…来”が他の動詞に接続して補語になった形です。

“V 到…来”と“V 到…去”をセットで覚えておきましょう。

为什么大雁 dà yàn 秋天要飞到南方去? どうしてガンは秋に南へ飛んでいくのですか。

77 Q : 中国語の学習の仕方について質問があります。

あと1か月で秋学期も終了しますが、公式のテストなどがないので正直どこがわかっていてどこがわからないのかわからない状況です。このまま二年生になって、中国語の勉強についていけるか不安です。ほかの中国語の授業もどんどん進んでいくので、あいまいなままその日の学習が終わってしまいます。

冬休みや春休みは復習をしたほうがいいと思ったのですが、どのように勉強すべきですか? まずは単語から見直すべきでしょうか?

中国語を勉強したいという気持ちはあるのに、どうしたらいいのかわからないので教えていただきたいです。

A : 一年目の不安定な学びが終わりに近づき、来年度へ向け心配が募る不安、察するに余りあります。不正常な状況下で、実感がもてないまま事態が進んでいくので、何を心配してよいのかさえわからなくなっても不思議ではないのに、初修外国語の習得の具合について冷静に見つめることができていることは、これからの着実な進歩を予感させます。

さて、なにしろ未曾有の厄災ですので、いかにアドバイスをしたらよいのか、的確な助言が用意できるのか、思案するところです。

かつて一度助言が図らずも効果をもたらしたことがありました。現下の事情とはまったく異なり、個人的な事情（音楽活動）で学年末までずっと学習がおろそかになったIさんという人に提案した「丸覚え大作戦」です。事情はまったく異なるとはいえ、彼女の状況は現在のほぼ全員のそれに近いものです。よく分からない、理解できない等々の訴えもいただきますが、スポーツやゲームや諸々の仕事のように、技能的色彩の強い分野の学習では、まずは基礎的なことを真似て繰り返し練習する、経験としての蓄積が習得の前提になります。

この授業の範囲で具体的に言いますと、毎回提出している課題の正解例の文を暗誦するのはどうだろうかと思います。

「分かる・分からない」は事を分けていって分析的に理解しようとする中で出てくる話ですが、丸ごと呑み込んで栄養としていくという手もあるということで、急がば回れで<sup>じりき</sup>地力を養うこの習練が先に続く学習を下支えしてくれると思います。ただ、大事なのは臨場感です。つまり、ただ読むのではなくて、相手にそれを伝えようと発話している状況を想像（妄想？）しなければ、内面に染み込んでいきません。パソコンで言えば、ひたすらキーボードを打って満足するだけでは、保存されずに、ワーキングメモリーで終わってしまいます。ちょっと変かもしれませんが、一人芝居的に気持ちを入れることが肝要です。

音声面での心配もあると思います。ネット上にはいろいろなサイトがあって手助けになってくれそうですが、中には信頼性に不安のあるものもあれば、無料なはずが有料に誘い込む類いのものもあって用心しなければなりません。以下のものは、演者のごこちなさを我慢をすれば、無料で信頼のおける教材ですので、活用されてはいかがでしょう。

東外大言語モジュール ⇒ 中国語 ⇒ 会話モジュール ⇒ 教室用  
普通話 <http://www.coelang.tufts.ac.jp/mt/zh/>

78 Q：4 番の問題の“能”はどこに置くのが正解でしょうか。“不”と“知道”をつなげたほうがいいのかわかりませんでした。

A：「このことは…してはならない」という日本語の語順（SOV 言語）は、SVO 言語である中国語では“这事不能……”となります。ですから、「このことは人に知られてはならない。」は“这事不能叫别人知道。”と作られます。“叫别人知道”は“叫”≡“被”ですから、このようになるわけですね。“不能……”（「…してはならない」）は、第11課で練習しました。

2 ここはたばこは吸えません。＝ここでタバコを吸ってはいけません。  
〔㊦不, ㊩抽烟 chōuyān, ㊵能, ㊶这儿〕→ 这儿不能抽烟。

79 Q：テキスト71頁や今回の資料に載っていた『60歳からの中国入門 むさしのドリーム号ほろ酔い中国語入門』を読んだのですが、第21課の“被”字文と第19課の“把”字文の違いがよくわかりませんでした。

A：ごめんなさい。かえって混乱させてしまったのかもしれませんがね。“把”字文と“被”字文は中国語教育の中で対照させて理解を促すという習慣があるので、それに乗っかって解説を試みたものでした。学習者の個性（考え方の個

性)や習得度等によって必ずしも効果的ではない場合もあります。両構文の用法を身につけることが目的であって、相性が合わない説明に混乱することを求めているわけではないので、ひとまず無視しておいてください。

ああいうふうに、こういうふうにと、いろいろ工夫して異なった説明の仕方を試みてはいるのですが、どうしてもこちらも個性(クセ)が抜けずに作風がなかなか広がりません。他の先生方もそれぞれ工夫して説明されていると思いますし、参考工具書やネット公開の教材などもあります。まずは自分にとっていまわかりやすいもので“把”字文と“被”字文の“しっぼ”をつかんでください。学習が進めば、また他の解説も自分に合ってきて効いてくるかもしれません。とはいえ、懲りずにまた違った解説を試みましょう。

\*\*\*\*\*

中国語のもっとも基本的な構文は、S(主語) + V(述語動詞) + O(目的語)です。

S(主語)は「仕手(=あることをする人)」であり、「受け手」であるO(目的語)になにかをするわけです。ただ、O(目的語)になにかをするというだけでは足りず、もっとO(目的語)に対して積極的に手を出してなんらかの処置を加えたいという場合には、

S(主語) + “把” O'(Oに来るべき名詞成分) + VP(処置内容を含意)  
と、“把”字文を使います。



咱们



把

把 这只小猫



买回去 吧。

かわいい! 気に入ったぞ!      うちの子にしちゃうんだ!

もう一つ、S(主語)が「仕手(=あることをする人)」ではなくて「受け手」じゃあないかという場合に、

S(主語) + “被(／叫／让)” + 結果を誘発する原因を作るもの + VP(結果を含意)  
と、“被”字文の利用が可能です。



他

被



被 汽车



撞伤了。

80 Q：今回は「受け身」の部分を学習しましたが、英語で学習する際には現在と過去の受け身で少し形は違います。中国語でもそういった違いはありますか。1番が“了”を使って過去のことを表せるのであれば5番も“选为了”となるのではないのでしょうか。

5. 彼はホワイトハウスの新任のスポークスマンに選ばれた。

〔白宫 Báigōng, 新闻发言人 xīnwén fāyánrén, 被, 他, 新任 xīnrèn, 选为〕 → 他被选为新任白宫新闻发言人。

A：第7回で中国語には時制（テンス）がないこと、そして英・中両語は英語を勉強した後に中国語を学び始めたという個人の学習歴から言えば近い関係にあるわけですが、系統が同じわけでもなく、素朴に見比べて得られる利益は見込めないということを解説しています。再録しますので、いま一度確認・復習してください。

81 Q：練習1の4「日本を離れ中国へ帰る」は、英語の構造であるように“回中国离开日本”という言い方で表現することは出来ないということでしょうか？

A：英語と中国語と日本語はそれぞれ系統も異にする別個の言語ですので、それぞれ別個の構造を持ち合わせています。人類の言語としてある種の共通の性質といったものの存在は認めるとしても、文の組み立てにおいて個々の共通性を求められるものではありません。

とはいえ、外国語の学習を英語で始めて、しかも一生懸命に学習した経緯から、つついわたしたちの他の外国語の学習に顔を出して干渉してくることは避けられません。わたしが学び始めたクラスでも、中国人の先生の会話の時間に Yes！とか No！などがまざったのを懐かしく思い出します。脳の中での交通整理がうまくいかない時期があるのです。英語の勉強も頑張ったし、中国語に対しても一生懸命であることの証左でしょう。

“选为”は動詞“选”が“为”を結果補語にとっています。結果補語を含む表現はすでに完了していることが自明ですので、必ずしも“了”（動態助詞）を要求しません。

82 Q：5 番の「ホワイトハウスの新任のスポークスマン」の訳は「新任のスポークスマン，ホワイトハウス内の」という並びにするべきなのか迷いましたが，どちらが正しいですか。

A：日本語はかなり「ユルい」のでそれにつられ混乱してしまいがちですが，ホワイトハウス・スポークスマンという職責ですから，設問にすでに示してあるようにそれで 1 語になります。5 つの語群の並べ替えの問題になっています。

5 彼はホワイトハウスの新任のスポークスマンに選ばれた。

〔白宫 Bǎigōng 新闻发言人 xīnwén fāyánrén, 被, 他, 新任 xīnrèn, 选为〕 → 他被选为 新任 白宫 新闻发言人。

83 Q：4 は“我妈妈”のあとに“做”が省略されているということですか。

4 うちの母は日本料理は上手です。

〔得, 很好, 日本菜, 我妈妈, 做〕 → 我妈妈 日本菜 做得很好。

A：目的語がある場合，その扱いは以下のようにになります。

她（弾）钢琴 弹得 非常 好。

Tā (tán) gāngqín tán de fēicháng hǎo.

彼女はピアノがとても上手です。

とまとめて示していますが，バラせば，

甲： 她 弹 钢琴 弹得 非常 好。

乙： 她 钢琴 弹得 非常 好。

の 2 種類です。

甲は動詞のコピー構造と呼ばれたりもします。乙を教科書の解説のように，前の方を省略したと考えておいてもよいのですが，二重主語文のように了解しておいてもいいでしょう。

実際には，この形はいきなり出てはきません。「うちのお母さんは中華料理とかはあまり作れません」とか「彼女は歌は上手ではない」等々の「フリ」があって成り立つ形です。

84 Q：練習 2 の 3 は，“他有一个姐姐…”の“一”が省略されているということですか？

3 彼には外国で働いている姉さんがいます。

〔个, 工作, 姐姐, 他, 有, 在国外 guówài〕 → 他有个姐姐在国外工作。

84-2 Q：練習 2 の 1・3 の問題において“件”や“个”の量詞の前に数詞は必要ないのですか？第 7 課を見てみると“一”がカッコになっているため数詞は省略可能なのかなと思ったのですが，しっかり確認したいので回答よろしく



お願いします。

1 あなたに相談したいことがあるんですけど。

[跟, 件, 你, 商量, 事儿, 我, 想, 一下, 有]

→ 我有件事儿想跟你商量一下。

84-3 Q: 練習2の3番の“个”は特定の意味を持って使われているのでしょうか。

84-4 Q: 練習2の1と3で81ページの“我有一件事儿想求你帮忙。”のように“一”がなくて戸惑いました。量詞は必ずしも数字や“这、那”とセットというわけではないのでしょうか。

A: まず, “个”は量詞ですね。数詞が加われば, “一个、两个、三个 ……” となり, さらに“一个”に指示詞が加えれば“这一个”, 縮約すれば“这个”となります。その知識をもとに, 「むき出しじゃないか!」という驚きですね。指示詞は措いておいて, 数詞ですが, それが“两、三、四 ……”ではなくて“一”だろうというところまではよろしいですね。

そうです, 英語の a を思い出してください。a も「1つ」と数えるのではなく使っていませんか? “两、三、四 ……” だったらとったりできないです。別に数えるわけではない“一”にとって省略したというより, いらなから落ちちゃったということです。でも, 量詞は必要なんです。だから“个”なんです。

**練習2** の1では“件”です。“一件”の“件”です。

喝杯茶怎么样?

お茶いかがですか。

Would you like a cup of tea?

みなさんは近い将来この3種の言語を使いこなす人になるわけですから, ちよっと並べてみるので, 見比べてください。英語の a cup of tea という言い方は勉強済みですね。不可算名詞だから, 物質名詞だからこのように表現するのだということでしたね。(商品としてお店で注文するときなどはそうしなくてよいみたいですけど)

平たく言う<sup>ばく</sup>と, 容器などにおさめないと, 言い換えれば境目がはっきりしなければ, 漠として表現に載せられないってことでしょうか。

さあ, ここからです。日本語ではそんな気遣いは不要。英語では液体などではかくの如し。そして現代中国語はこれが行き過ぎてしまってきているのです。文法学的な言い回しを使えば, 有界化<sup>ゆうかい</sup>とか个体化<sup>こたい</sup>とかとなりますが, 「境界をはっきりさせ量や程度をいちいち確認してハンコを押すようなイメージで面倒

くさいクセをついちゃったんだ、中国語は」というふうに諦めてそのクセに染まりましょう。

“一下” もそうでしょ。「ちょっと…する」と訳語を当ててやりすごしていますが、『日本語人』から言えば、いちいちうるさいでしょ。形容詞述語文の“很” なんかもっと訳が分らないでしょ。「とても」というほどの意味はないけれども付けなさいって。頻繁に“(一) 个”・“一点儿 (一些)”・“一下”・“很”等々が顔を出すのはみな現代中国語のこの特徴ゆえなのです。

〔付記〕紙幅の制限に應えるため、具体的な質問というよりも不定愁訴に傾くものや進歩の喜びを報告する色彩の強いもの等々についてはこれを割愛し、またイラストをほぼすべてカットし行間もでき得るかぎり詰めた。なお、カラーはモノクロに、画像は一部取り換えが求められ変更をしている。

